
(仮称)杉並区立アーバンスポーツパークの整備に向けた
調査等業務支援委託

詳細資料

令和7年3月
NPO法人 日本スケートパーク協会

1. 旧杉並中継所の施設概要	3
2. アーバンスポーツについて	4
3. 施設全体の配置図	11
4. 施設本体の特性等の調査	14
5. 建物周辺の路面調査・迷惑行為発生の可能性調査	30
6. 施設に関する需要・意識調査(アンケート)	32
7. 施設整備に向けた合意形成(意見交換会)	42

1. 旧杉並中継所の施設概要

旧杉並中継所の施設概要

・旧杉並中継所は、小型プレス車で収集した不燃ごみを効率的に最終処分場に運搬するため、大型車両への積み替えを行う施設でした。平成12年度(2000年度)に東京都から清掃事業が移管された際、区に施設が移管されました。

・その後、不燃ごみが大幅に減少したことなどから、平成21年(2009年)3月末に廃止しました。東京都から移管された時の条件で、20年間は清掃事業以外の用途では活用できませんでしたが、令和2年(2020年)3月末をもって条件期間を経過したことから、他の用途でも活用できるようになりました。

○施設情報

面積 : (敷地面積)8,919.46㎡
(延床面積)6,311.73㎡

建物の概要 : 平成8年(1996年)3月竣工(築28年)
RC(鉄筋コンクリート)造
1階:912㎡ 地下1階:3,135.14㎡
地下2階:2,264.59㎡

用途地域 : 第一種低層住居専用地域(一部、第一種住居地域)



首都直下地震の発生が危惧される中、区の災害対応力の一層の向上を図るため、「発災後3日間を乗り切れる体制の構築」等の視点に立ち、災害時には旧杉並中継所を区の防災拠点として活用することとしています。

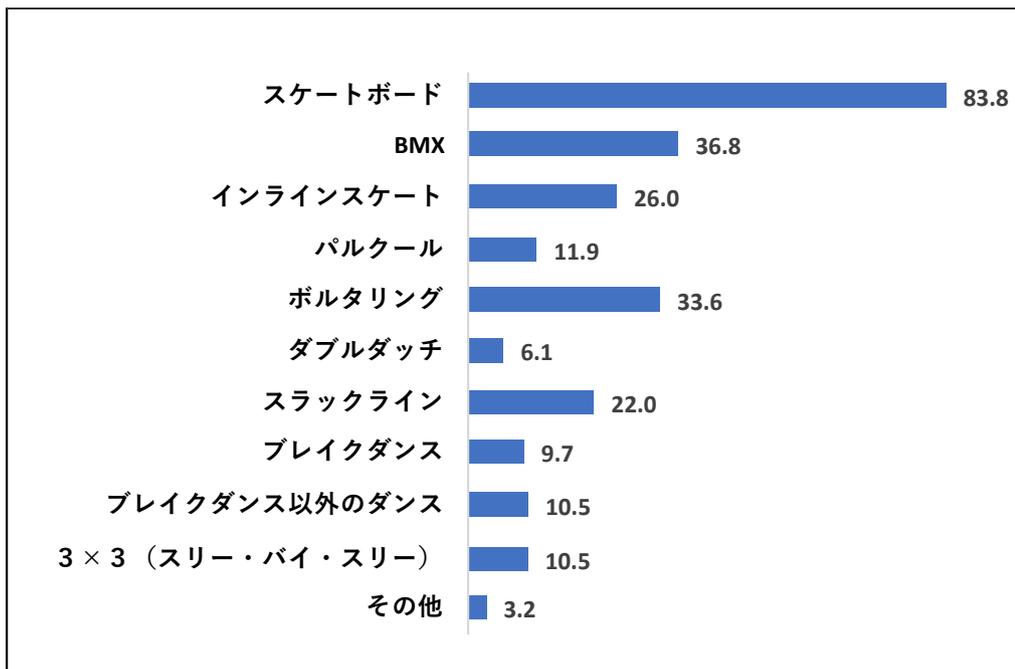
2. アーバンスポーツについて

アーバンスポーツとは

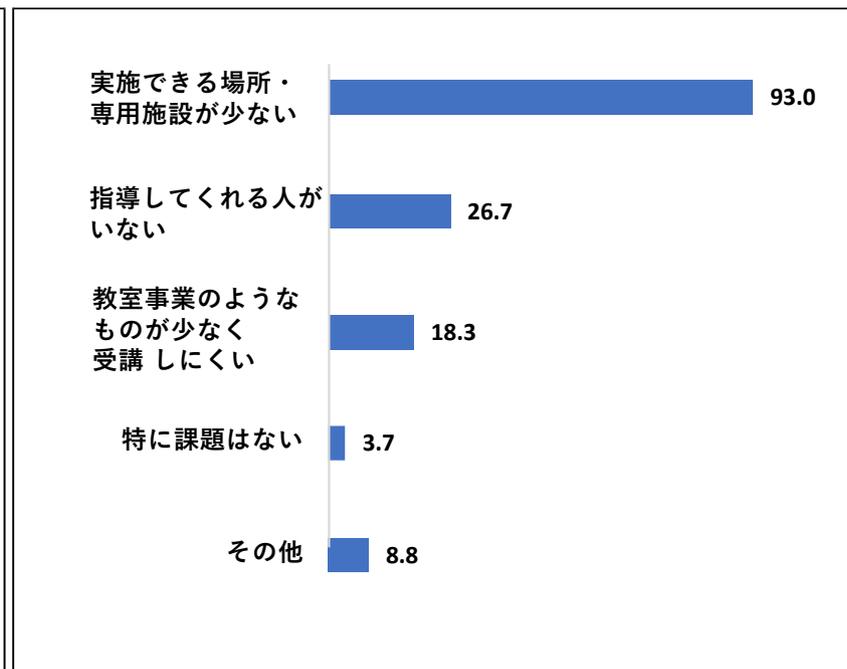
- アーバンスポーツとは、都市環境の中で楽しむスポーツの総称です。主にスケートボード、BMX、インラインスケート、ストリートバスケットボール、パルクールなどがあります。
- 近年ではオリンピックの正式種目に採用されている種目もあり、注目が高まっています。一方で、国内では安全面や公共空間での利用の難しさから、専用施設の整備が求められています。
- アーバンスポーツは、チームスポーツと違い、簡単な道具があれば一人でも楽しめるスポーツであるとともに、施設に集まった利用者同士がたたえ合うなど、コミュニケーションを取り合うことがしばしば見られるのも特徴です。
- また、マナーが悪いなどのイメージを持たれやすく、地域に受け入れられる施設となるように、利用者が地域と話し合っルール作りをすることもあり、競技としてだけでなく、地域のつながりを生み出す可能性を持った、新しいスポーツ文化であると考えています。

アーバンスポーツ体験種目と活動上の課題についてのアンケート

● 体験したことのある種目 (N=277)



● 活動上の課題 (N=273)



(出典) アーバンスポーツツーリズム研究会(※)「アーバンスポーツツーリズム需要者アンケート調査(令和3年2月)」
※スポーツ庁や民間の有識者・団体等で構成

このアンケート調査から見えること

- ・アーバンスポーツで最も体験の多い種目はスケートボードです。
- ・アーバンスポーツ活動上の課題は実施できる場所(専用施設)が少ないことです。

2. アーバンスポーツについて

スケートボード等のストリートスポーツとは

- ストリートスポーツとは、アーバンスポーツの中でもタイヤ(ウィール)がついている種目のことを指します。代表的な種目はスケートボード、BMX、インラインスケート、ローラースケートなどがあります。
- 2020年の東京オリンピックで初めてスケートボードやBMXといったストリートスポーツが競技採用されたことから、日本国内におけるアーバンスポーツを代表するスポーツとして定着しつつあります。
- 2020年東京オリンピック及び2024年パリオリンピックのスケートボードによるストリート競技では、日本人選手が男女ともに金メダルを獲得し連覇しました。
- 小学校低学年から若者に人気があり、子育て世代の親御さんが子どもと一緒に始める事例もあります。

スケートボード



インラインスケート



BMX



キックバイク



【出典: 特定非営利活動法人 日本スケートパーク協会より】

【出典: 一般社団法人日本キッズバイク安全普及推進協会より】

【出典: 一般社団法人 全日本フリースタイルBMX連盟より】

2. アーバンスポーツについて

ストリートスポーツ以外のアーバンスポーツとは

- パルクールの歴史は、フランスの軍事訓練にルーツを持っています。自由な移動や自己表現の方法として確立しました。現代では競技やスポーツ、アート、哲学的要素を含む活動へと広がっています。障害物を効率的かつ流れるように乗り越えたり、跳び越えたりする動きが基本です。都市部の手すり、壁、階段などが主な練習場となります。
- ボルダリングは、登山の訓練として岩や壁を登る「ロッククライミング」から派生したスポーツです。20世紀後半には、ボルダリングが独立したスポーツとして認識され、屋内のボルダリングジムが普及することで、競技人口が増加しました。現在では、オリンピック種目にも採用されるなど、世界的なスポーツとして人気を博しています。比較的低い高さの壁を登るスポーツで、安全のためのロープやハーネスを使わず、クライミングマットで落下時の衝撃を吸収します。ウォールには「ホールド」と呼ばれる握る部分が設置されており、異なる色や形状で設定された「課題」を解決しながら進む点が特徴です。
- スラックラインは1960年代、ヨセミテ国立公園の「Camp4」というエリアで、クライマーたちがチェーンやロープを使って行った綱渡りが起源です。ヨーロッパの会社が設置しやすい専用ラインを開発したことで、世界的な普及が進みました。スラックラインは通常、幅約 2.5 ~ 5 cm のナイロン製のベルトです。長さは数メートルから数十メートルまであります。静止したり、歩いたり、ジャンプしたり、さまざまな技に挑戦できます。

パークール



【出典：WFPP Parkour Academyより】

ボルダリング



【出典：International federation of sport climbingより】

スラックライン



【出典：International Slackline Association: ISAより】



【出典：pexels-mary-taylorより】



【出典：International federation of sport climbingより】

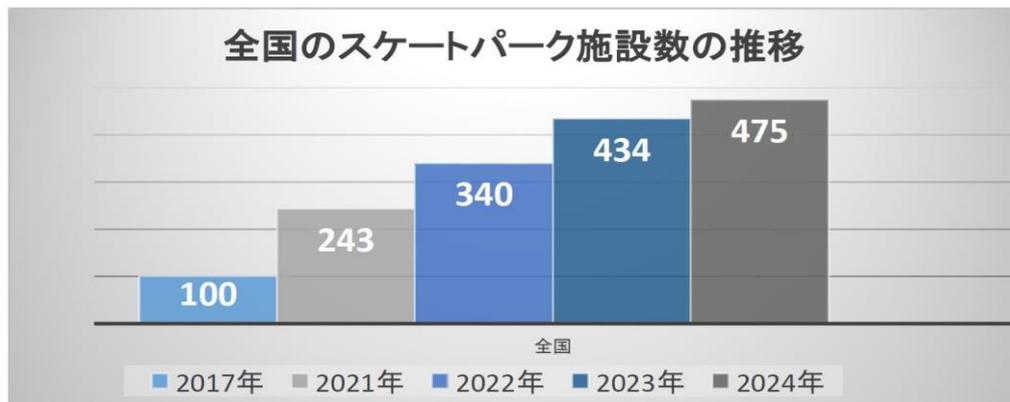


【出典：International Slackline Association: ISAより】

2. アーバンスポーツについて

日本におけるアーバンスポーツ施設について

全国のスケートパーク施設数の推移



施設数	2017年	2021年	2022年	2023年	2024年
全国	100	243	340	434	475

2016年8月に2020東京オリンピック新種目発表

出展：NPO法人 日本スケートパーク協会「日本全国公共スケートパーク総数調査(2024年5月31日時点)」

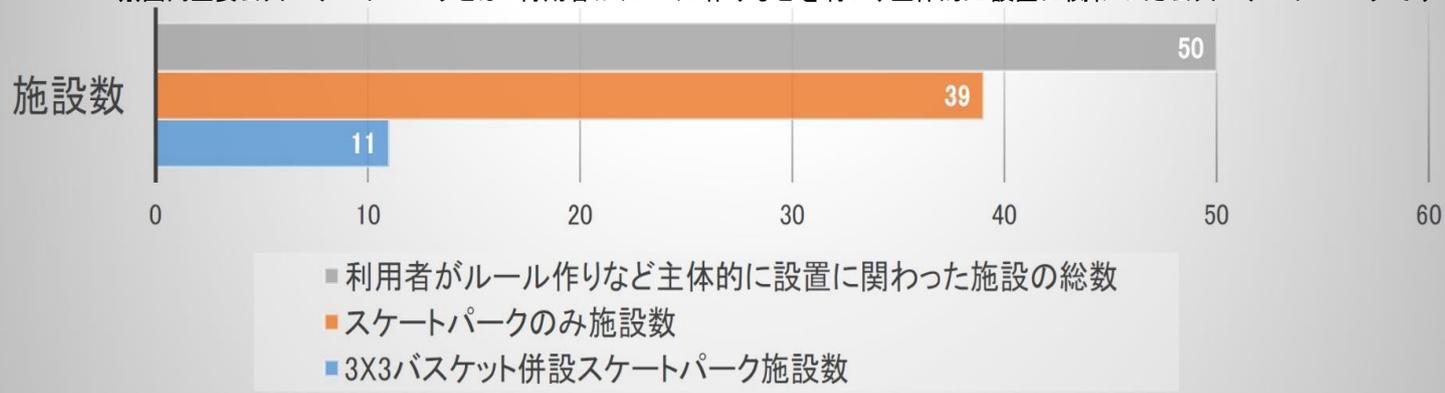
アーバンスポーツ施設の中で、最も代表的な施設が「スケートパーク」です。スケートパークとは、アーバンスポーツの中でも主に「ストリートスポーツ」が利用できる施設です。

2020東京オリンピックからスケートボードとBMXフリースタイル競技が採用されたこともあり、日本全国の自治体で、ストリートスポーツができる施設の設置が増加しています。

また、少人数でできる3×3バスケットボールが出来るコート併設した「スケートパーク」もあります。

国内主要公共スケートパークのうち、3×3バスケットコート併設している施設数

※国内主要公共スケートパークとは：利用者がルール作りなどを行い、主体的に設置に関わった公共スケートパークです

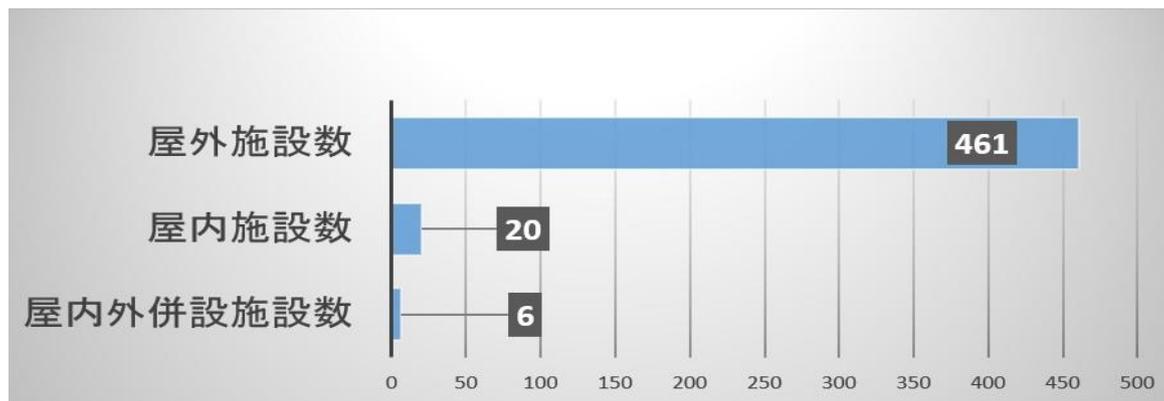


NPO法人 日本スケートパーク協会「国内主要公共パーク概要・面積・料金・ルール・3X3バスケット・屋根・終業時間調査(2024年8月5日調査)」

3×3バスケットコートなど、これまで公園内に設置されていた設備が、近年では人気の高まりとともに、比較的規模の大きな「スケートパーク」に併設されるケースが増えてきています。

2. アーバンスポーツについて

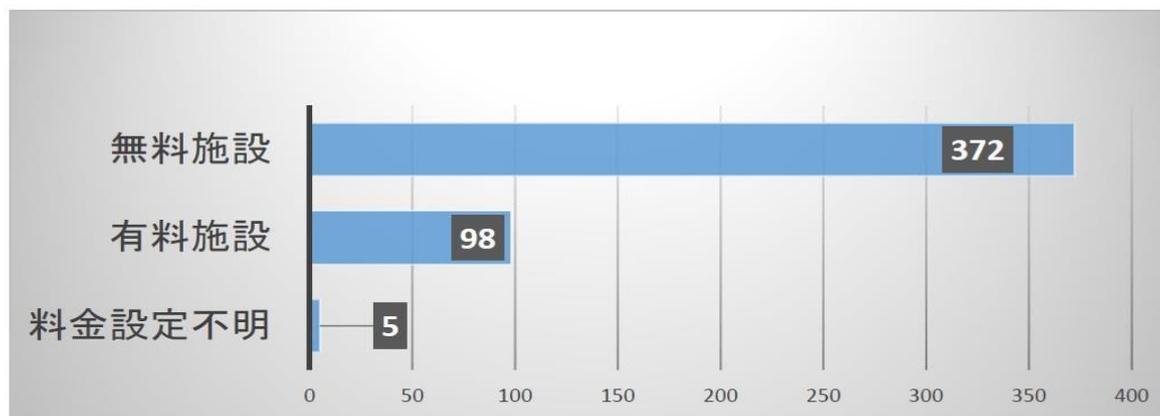
施設設置環境(屋内外併設施設は重複あり)



NPO法人 日本スケートパーク協会「日本全国公共スケートパーク総数調査(2024年5月31日時点)」

アーバンスポーツが利用可能なスケートパークは屋外施設が多く、雨天や積雪の際は利用できない施設が多いです。

施設利用料金設定



NPO法人 日本スケートパーク協会「日本全国公共スケートパーク総数調査(2024年5月31日時点)」

規模が小さな施設や屋外施設では、利用料を無料としている施設が多いです。

2. アーバンスポーツについて

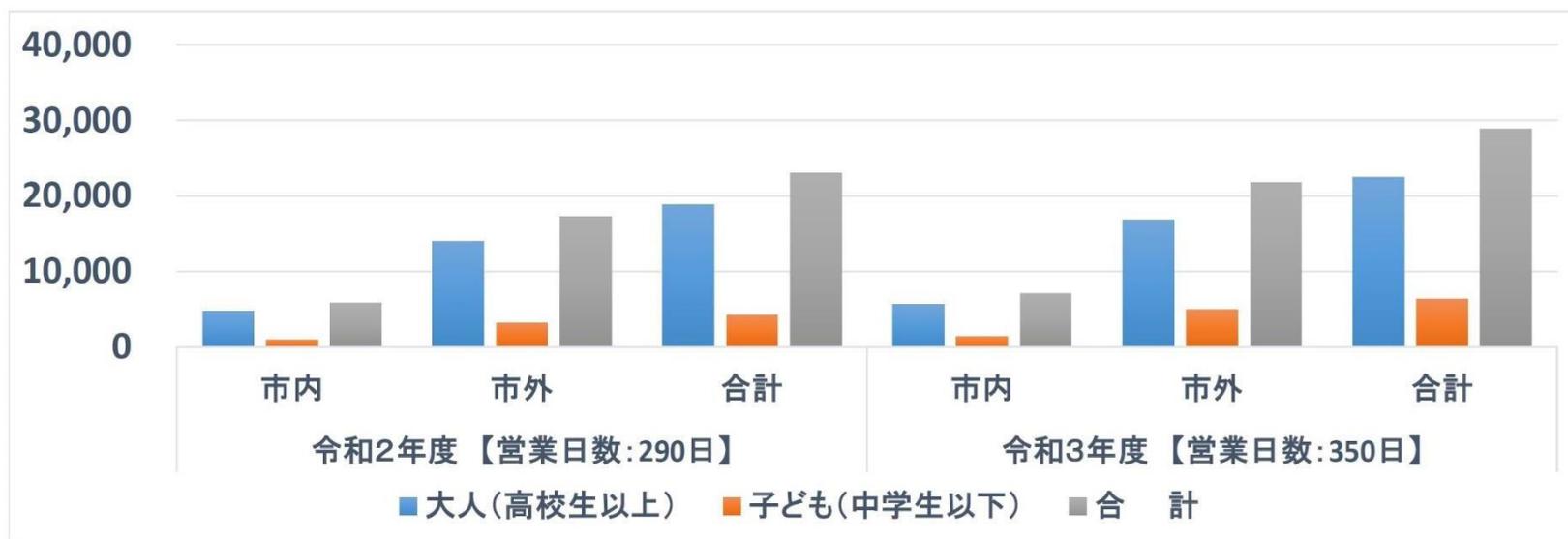
アーバンスポーツ施設利用者の年齢傾向について(八王子市の公共スケートパークの例)

八王子市にある公共スケートパークの年間利用者数

年 度	令和2年度【営業日数:290日】			令和3年度【営業日数:350日】		
	市内	市外	合計	市内	市外	合計
市内外別						
大人(高校生以上)	4,805	14,024	18,829	5,652	16,812	22,464
子ども(中学生以下)	993	3,217	4,210	1,438	4,962	6,400
合 計	5,798	17,241	23,039	7,090	21,774	28,864

※令和2年度:新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため休場(4/1~6/14)

※令和3年度:新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため休場(4/27~5/11)



- ・ コロナ禍の時期のデータになりますが、約18~22%が中学生以下の子どもの利用となっています。
- ・ 当施設では、4歳~小学6年生までは成人の保護責任者の同伴を必須としていることもあり、子どもと一緒に楽しむ保護者もいることから、多世代の利用につながっています。

2. アーバンスポーツについて

アーバンスポーツ施設が地域にもたらす影響

- **施設の設置で地域の治安が良くなった**

郊外の公園内に公設のスケートパークを設置する際、利用者団体の提案を聞きながら設置したところ、県内外から若者が集まり、交流の場として機能し、その場にいる人々の目によって地域の治安が向上した事例もあります。

- **住民同士の話し合いから地域を活性化**

アーバンスポーツの一部については、利用者マナーや騒音等の問題もあり、施設整備においては、地域の理解やルール作りなどが不可欠です。施設の必要性の有無を含め、検討段階から様々な立場の地域住民が関わることで地域コミュニティの醸成につながり、地域の活性化が期待できます。

- **世代間交流の促進効果**

アーバンスポーツは誰でもいつでも始められるため、様々な世代が同じ場所に集い、一緒に運動を楽しみながらコミュニケーションを交わすことで、世代間交流が生まれることに期待ができます。

アーバンスポーツ施設を整備する際の懸念点

- 施設の外で滑走等をしてしまうなど、周辺的环境に迷惑をかけてしまうことがあります。
(例: 施設までの道中でスケートボードやインラインスケートを使ってしまい、騒音につながる。等)
- 一部の利用者の影響もあり、マナーが悪いというイメージを持たれてしまうことがあります。
(例: 施設利用後の路上喫煙、施設周辺でたむろする。等)

アーバンスポーツができる施設の整備を検討する際には、以上のような懸念点をどのように解決していくかをしっかり検討する必要があります。

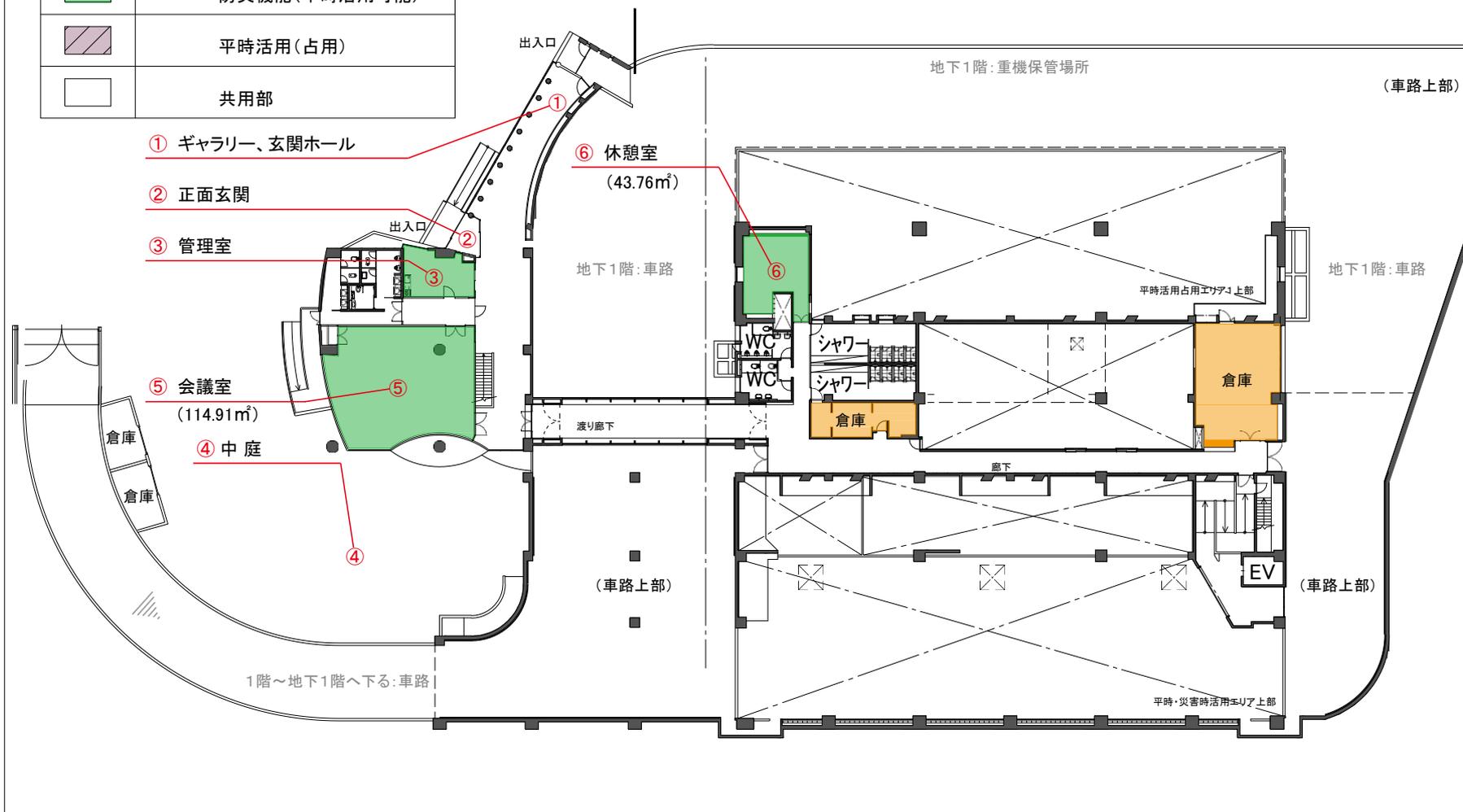
3. 施設全体の配置図

1階

■ 1階 ゾーン配置図

改修後用途 凡例	
	防災機能(占用)
	防災機能(平時活用可能)
	平時活用(占用)
	共用部

- ① ギャラリー、玄関ホール
- ② 1階:正面玄関
- ③ 管理室
- ④ 中庭
- ⑤ 会議室 (114.91㎡)
- ⑥ 休憩室 (43.76㎡)



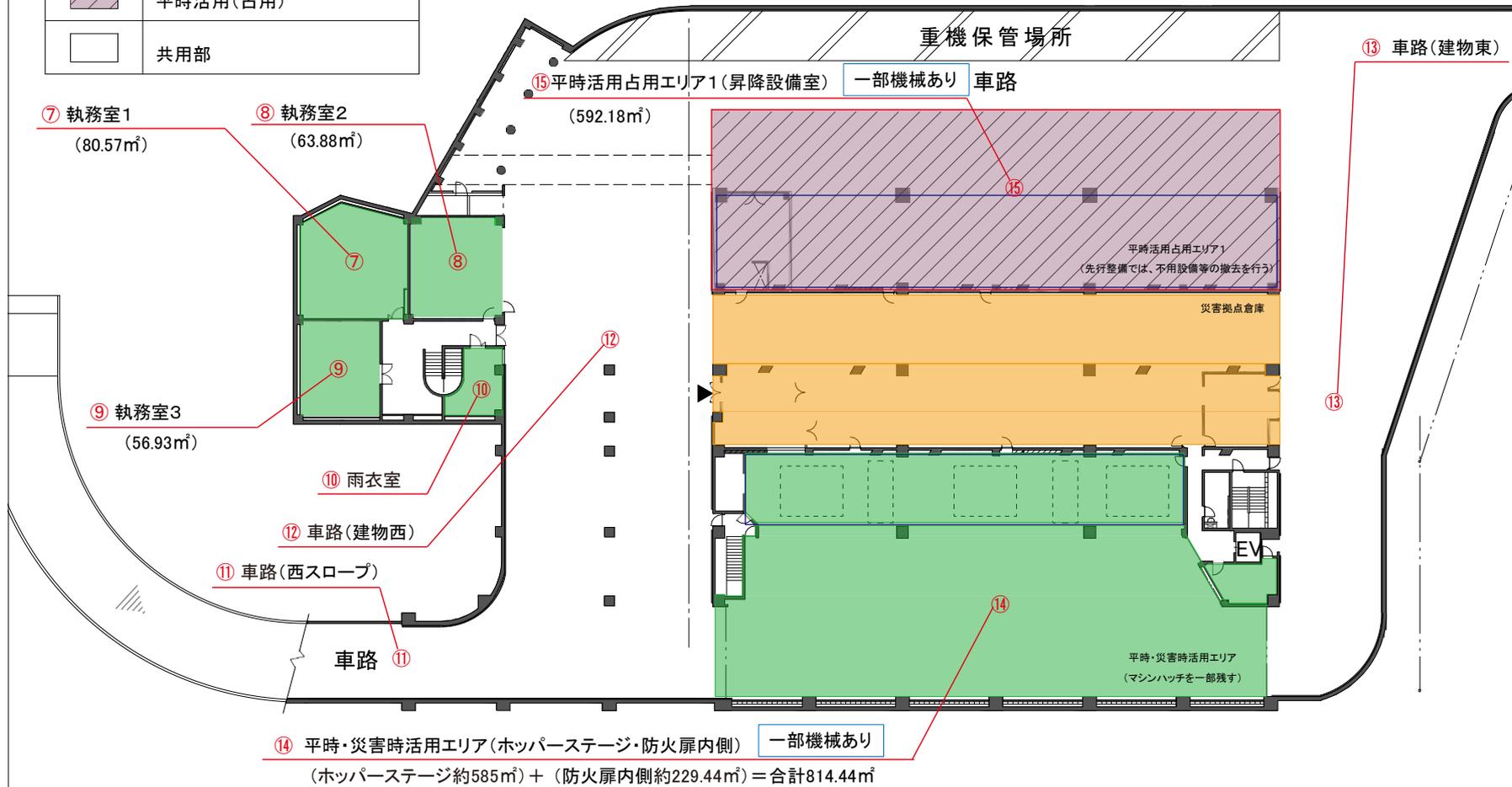
3. 施設全体の配置図

地下1階

■ 地下1階 ゾーン配置図

改修後用途 凡例	
	防災機能(占有)
	防災機能(平時活用可能)
	平時活用(占有)
	共用部

⑦ 執務室1 (80.57㎡)	⑫ 車路(建物西)
⑧ 執務室2 (63.88㎡)	⑬ 車路(建物東)
⑨ 執務室3 (56.93㎡)	⑭ 平時・災害時活用エリア(ホッパーステージ) (約585㎡)
⑩ 雨衣室	平時・災害時活用エリア(防火扉内側) 一部機械あり (約229.44㎡)
⑪ 車路(西スロープ)	⑮ 平時活用占有エリア1(昇降設備室) 一部機械あり (592.18㎡)



3. 施設全体の配置図

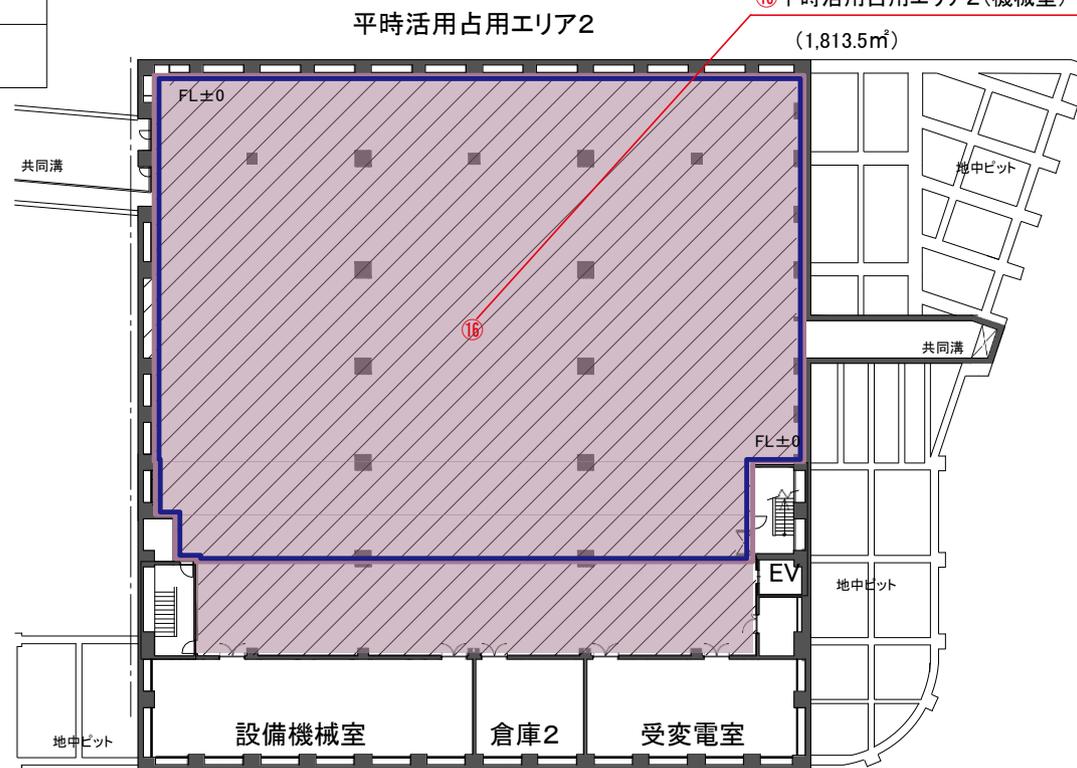
地下2階

■ 地下2階 ゾーン配置図

改修後用途 凡例	
	防災機能(占用)
	防災機能(平時活用可能)
	平時活用(占用)
	共用部

⑩ 平時活用占用エリア2(機械室) 一部機械あり (1,813.5㎡)

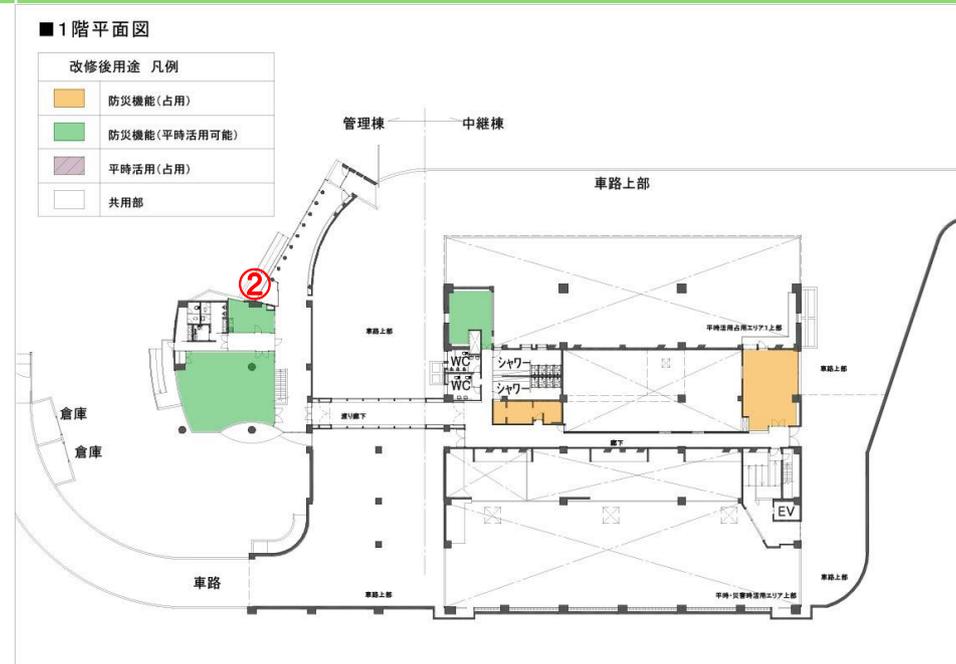
⑩ 平時活用占用エリア2(機械室) 一部機械あり



現地写真



位置図



エリアの特性

- 玄関前には車いすで入場できるスロープが設置されています。
- 出入口は二重の自動ドアとなっており、間には管理室とつなぐ小窓があります。
- 施設の主な出入口として活用できます。

特性を踏まえた整備の方針等

- 施設利用者が滞留できる広さの廊下に面しているなので、施設の主な出入口として利用できます。
- 利用者用出入口としての機能を持たせることができます。
- バリアフリー機能が備わっているため、歩行が困難な場合など、車いすでの入退場も可能です。

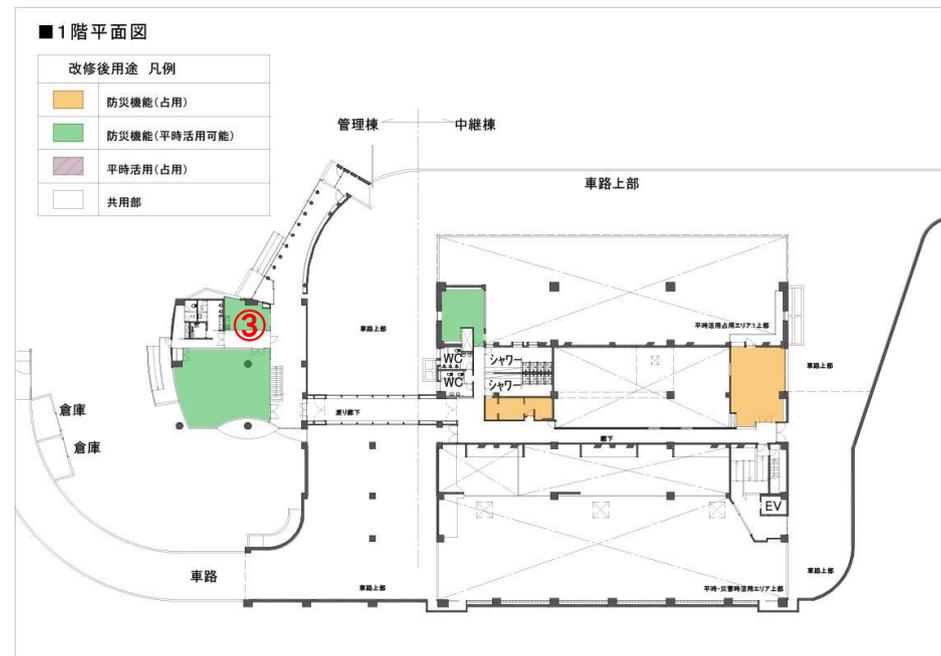
具体的な活用案

- 施設のメインエントランス
- 施設入退場受付窓口(利用登録・利用料受付)
- 施設情報等掲示板
- 意見箱設置

現地写真



位置図



エリアの特性

- 玄関側に受付用小窓があります。
- 管理室前に広いスペースがあります。
- 管理室外壁に手すりがついています。
- 管理室としての広さは十分です。

特性を踏まえた整備の方針等

- 施設の内外を確認できる窓が付いているため、施設利用者の入退場管理室としての機能を持たせることができます。

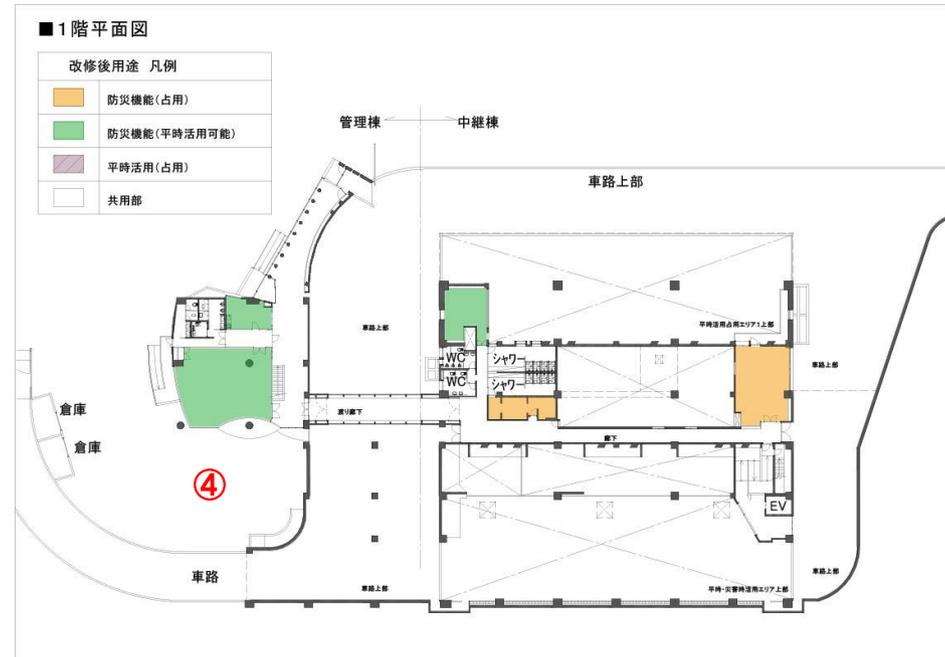
具体的な活用案

- 施設管理全般(予約管理・クレーム受付等)
- 施設入退場受付窓口(利用登録・利用料受付)
- 管理者控室
- 緊急・救護受付

現地写真



位置図



エリアの特性

- ベンチがあります。
- 倉庫があります。
- 井草森公園へと続く階段があります。(現状閉鎖中)
- 保育園と隣接しています。
- ②1階:正面玄関に続いています。

特性を踏まえた整備の方針等

- 一定程度、近隣の住宅から遮蔽された空間であるため、施設利用者専用の駐輪場等の用途が考えられます。
- 南側にある井草森公園につながる通路は階段となっているため、避難経路としての機能を持たせる場合は、一部改修する必要があります。

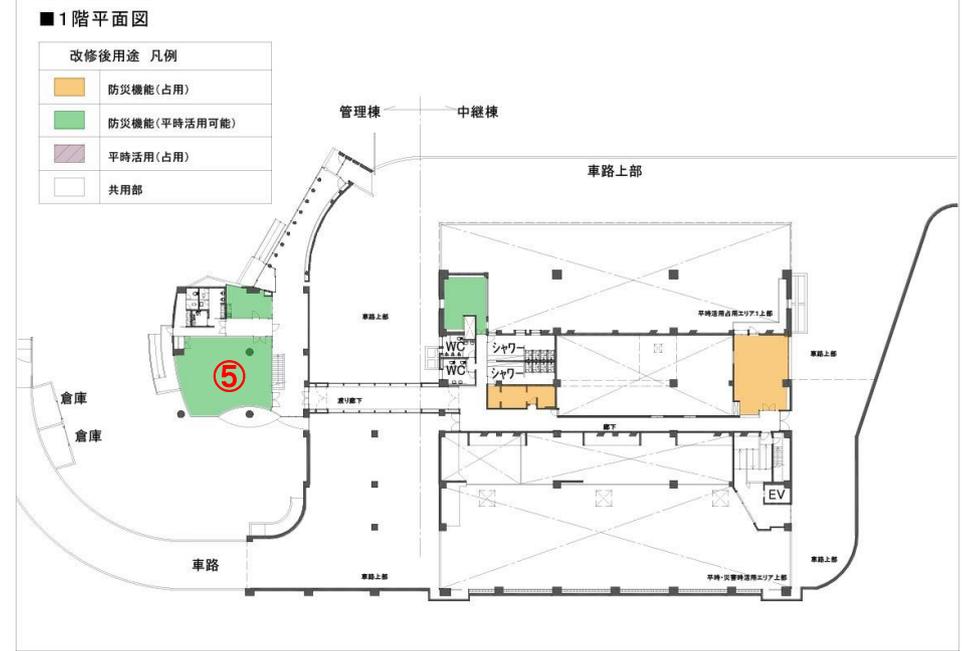
具体的な活用法

- 施設情報等掲示板
- 近隣住民の憩いの場(待ち合わせ場所)
- 駐輪場
- 資材置き場

現地写真



位置図



エリアの特性

- 50人程度が収容可能な広さがあります。
- ④1階:中庭に面した大きな窓がありカーテンが付いています。
- ③1階:管理室の隣にあります。
- 現在は会議室、作業スペース等として利用されています。

特性を踏まえた整備の方針等

- 広さがあるので幅広い用途に対応できます。
- ワークショップや勉強会、講習会などの開催場所として利用できます。

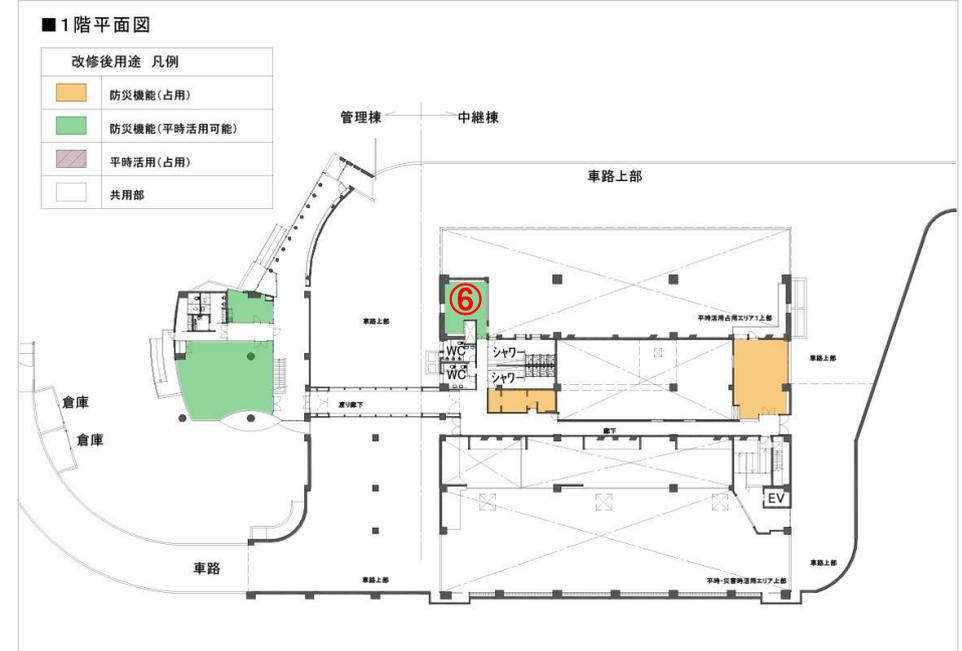
具体的な活用例

- 会議室
- 多用途で使用可能なレンタルスペース
- 待合スペース・休憩室(育児スペース)

現地写真



位置図



エリアの特性

- 天井高は低い(3m以下)です。
- 現在は、書類倉庫として利用されています。
- 書類及び棚を撤去すれば20人程度が収容可能な広さがあります。
- 施設内の動線から隔離された末端にある場所であることから、人の目が届きにくいです。

特性を踏まえた整備の方針等

- シャワールームやトイレも近いことから、ロッカールームとしての機能を持たせることが可能です。
- 水場も近く、人の目が届きにくいことから、室内をパーティションなどを用いて区画分けすれば、育児スペースや授乳室としての利用も可能です。

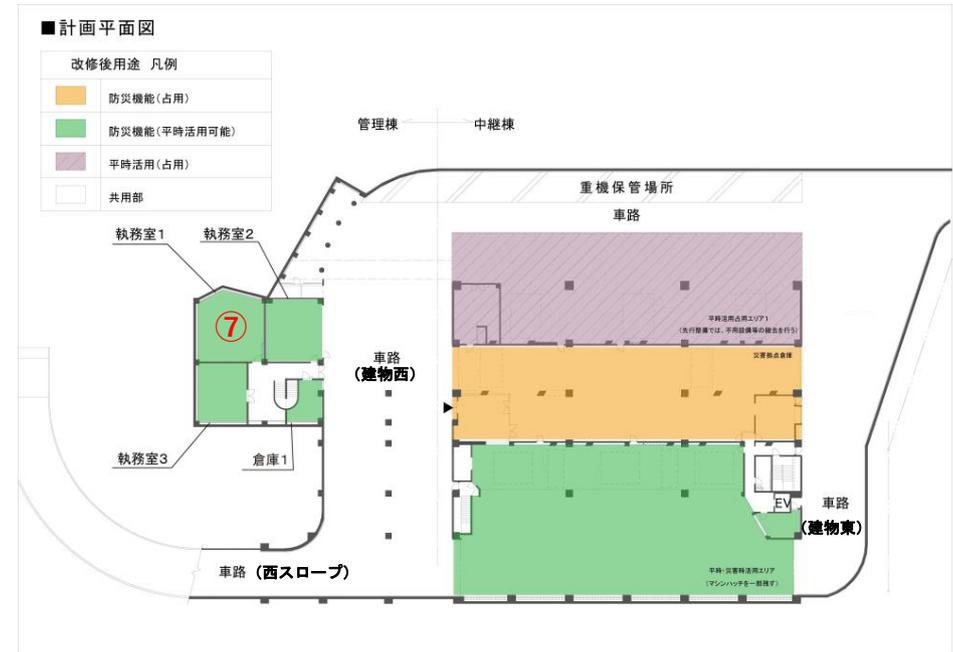
具体的な活用例

- 休憩室(育児スペース・授乳室)
- 多用途で使用可能なレンタルスペース
- ロッカールーム
- 倉庫

現地写真



位置図



エリアの特性

- 窓がありません。
- 天井高は低い(3m以下)です。
- 現在は物置として利用されています。
- 30人程度が収容可能な広さがあります。

特性を踏まえた整備の方針等

- 屋内における30人程度でのサークル活動や鑑賞会、施設利用に関する安全講習会など、幅広い用途に対応できます。
- 音が外部に漏れないため、工作室など音の出る作業場としての用途にも対応可能です。

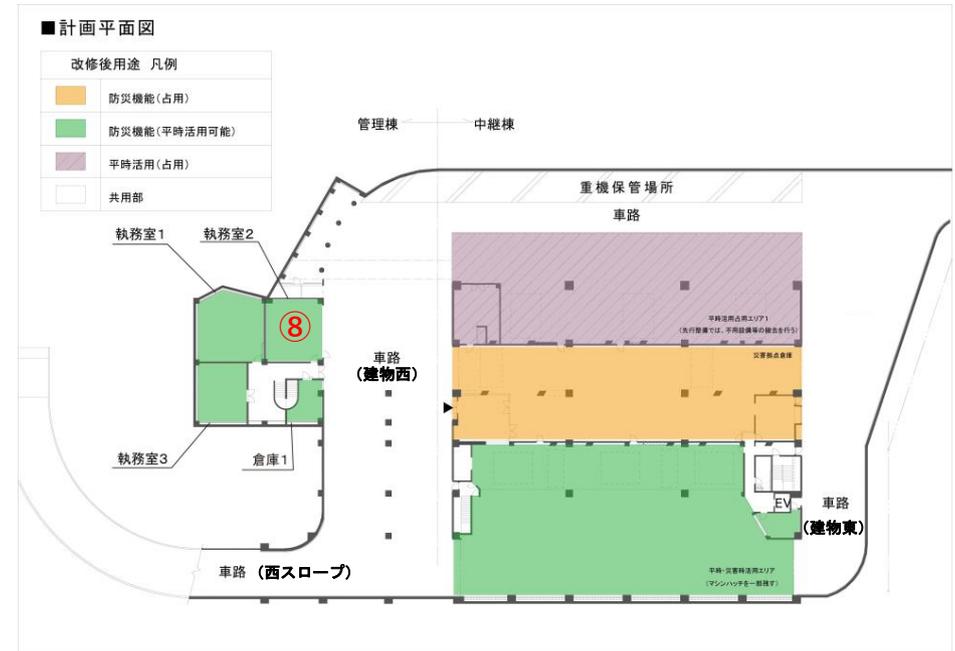
具体的な活用法

- 会議室
- 休憩室
- 多用途で使用可能なレンタルスペース
- 工作室
- 倉庫

現地写真



位置図



エリアの特性

- ⑬地下1階:車路(建物東)とつながっています。
- シャッターで外部と遮断できます。
- 現在は物置として利用されています。

特性を踏まえた整備の方針等

- シャッターが設置されているため、音が外部に漏れにくく、衝撃音などの発生が無ければ、多少音の出る利用も可能です。
- シャッターを開けると天井高が下がるため、ボルダリングの壁など大きな構造物の設置は難しいです。
- 床がコンクリートのため、タイヤの付いた用具の利用も可能です。

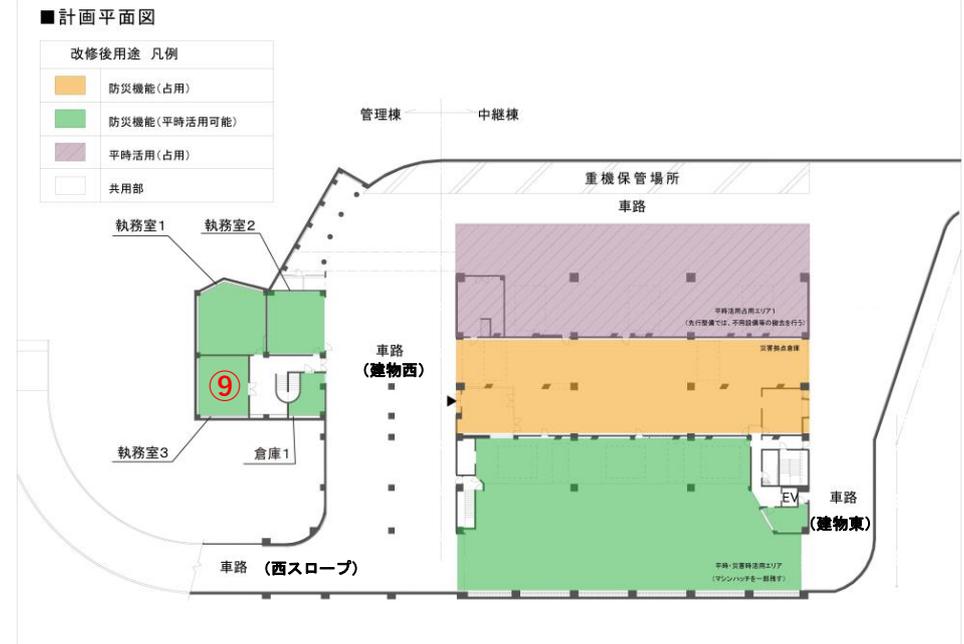
具体的な活用例

- 会議室
- 休憩室
- スケートボード等のアーバンスポーツの初心者講習エリア
- 多用途で使用可能なレンタルスペース
- 工作室
- 倉庫

現地写真



位置図



エリアの特性

- 窓がありません。
- 天井高は高い(3m以上)です。
- 年間を通して温度が一定しています。
- 現在は物置として利用されています。

特性を踏まえた整備の方針等

- 外部に音が漏れず天井高が高いため、壁を使った構造物の設置が可能です。
- 床がコンクリートのため、タイヤの付いた用具の利用も可能です。

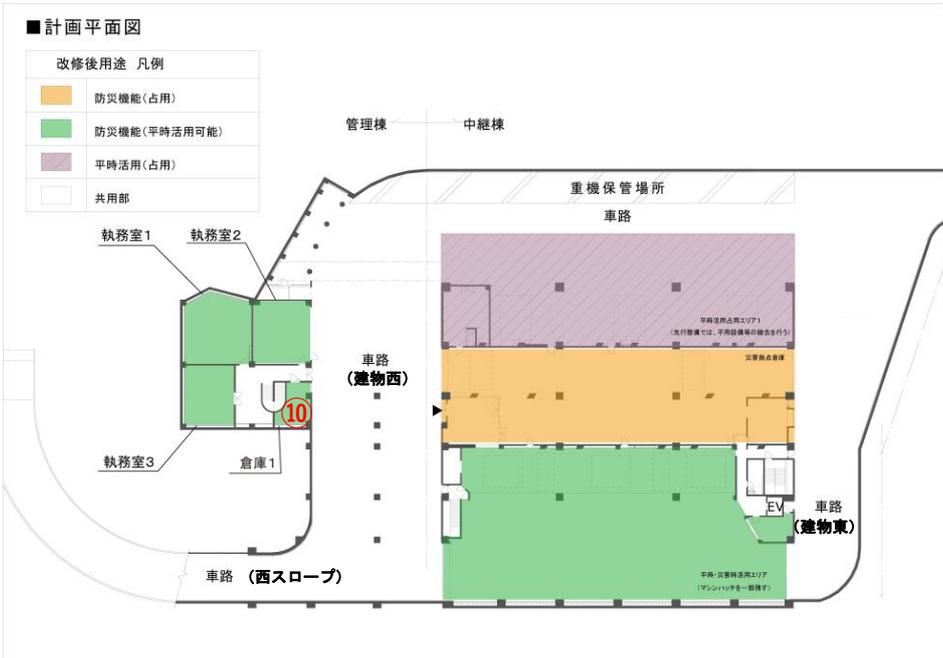
具体的な活用法

- 会議室
- 休憩室
- スケートボード等のアーバンスポーツの初心者講習エリア
- 多用途で使用可能なレンタルスペース
- 工作室
- 倉庫

現地写真



位置図



エリアの特性

- ボイラー設備が設置されています。
- 現在は倉庫として利用されています。
- 天井高が低く撤去しにくい配管があるため、機器の設置及び固定には適していません。

特性を踏まえた整備の方針等

- 施設利用者への開放は適していません。

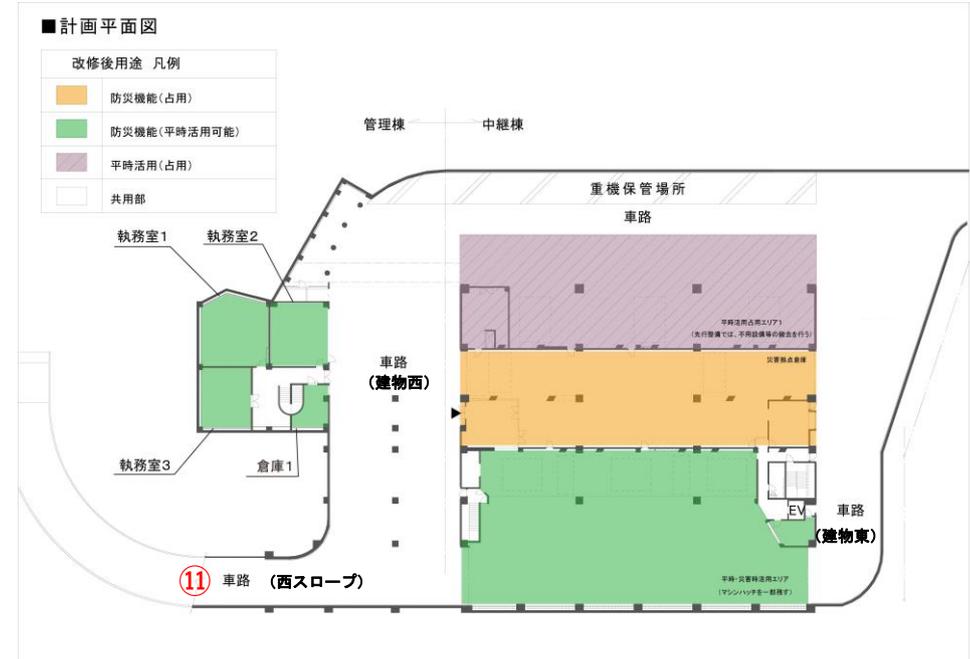
具体的な活用法

- 倉庫
- 施設管理者休憩所

現地写真



位置図



エリアの特性

- 外の出入り口とつながっています。
- なだらかなスロープとなっています。
- 半屋内です。
- 壁、天井は防音処理がされています。
- 人目が届かない場所です。

特性を踏まえた整備の方針等

- この車路は、施設外部の井草森公園西側道路に繋がっているため、施設内に駐輪場や駐車場の確保を考えた場合は通路として活用できます。
- 災害時には防災拠点として車が通行するため、施設利用者への常時開放は適していません。

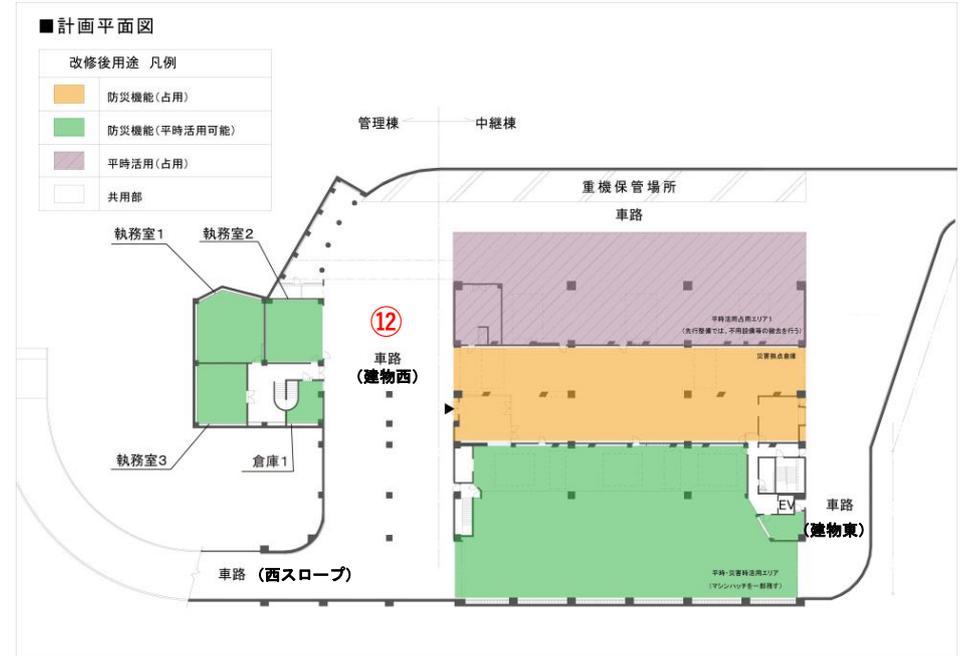
具体的な活用案

- 駐車場
- 通行路(施設利用者避難経路)

現地写真



位置図



エリアの特性

- 屋根がありません。
- ゴミ収集車用の設備が残っています。
- 音が施設外部に漏れる可能性があります。

特性を踏まえた整備の方針等

- 音が出る用途で活用する場合は、近隣への配慮が必要です。
- 一部、構造物が残っているため、使用用途によっては撤去を検討する必要があります。

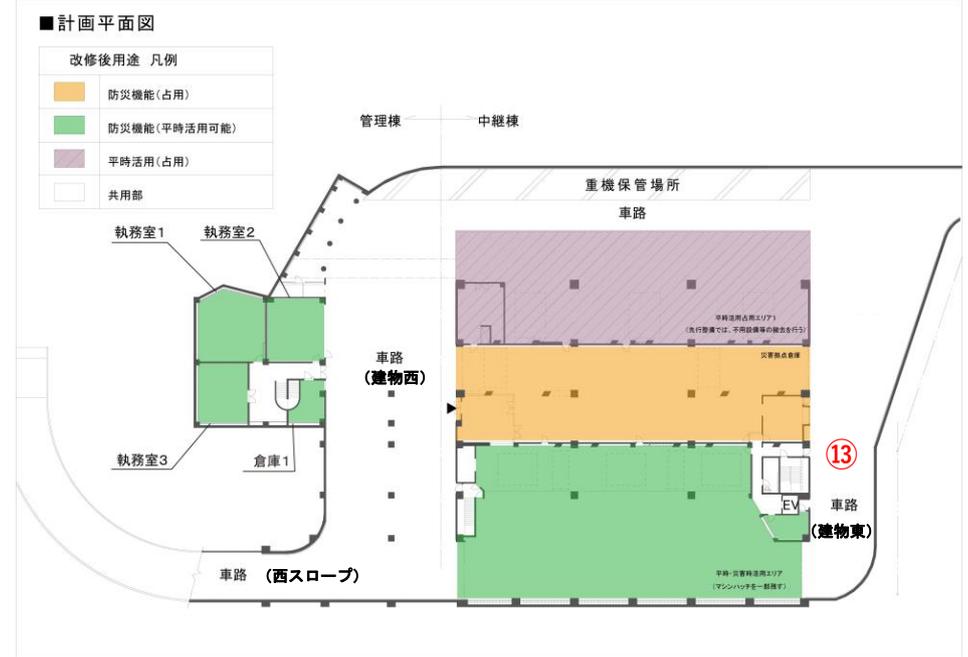
具体的な活用案

- ランニング・トレーニングエリア
- ライン線引きをして自転車練習場
- 一時的なイベント会場(ケータリング・キッチンカー等飲食販売・物品販売)
- 施設利用者、施設スタッフ等の駐車場・駐輪場

現地写真



位置図



エリアの特性

- スチール製の台貫(トラックなどの車両の重量や積載物を計測する大型の計量器)が設置されています。
- 音が施設外部に漏れる可能性があります。

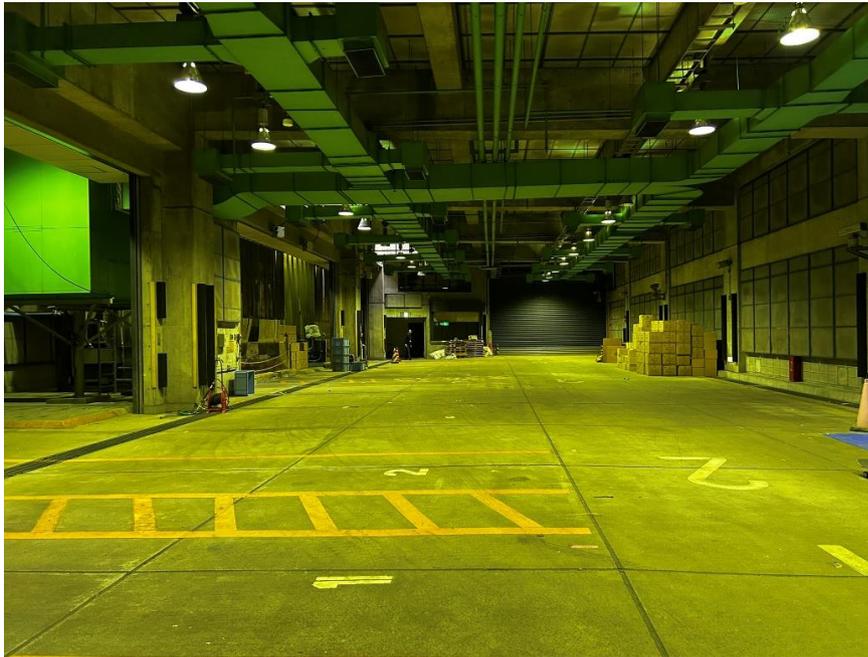
特性を踏まえた整備の方針等

- 外部に対して遮蔽物が無く音が漏れる可能性があるため、音の出る利用には制限が必要です。

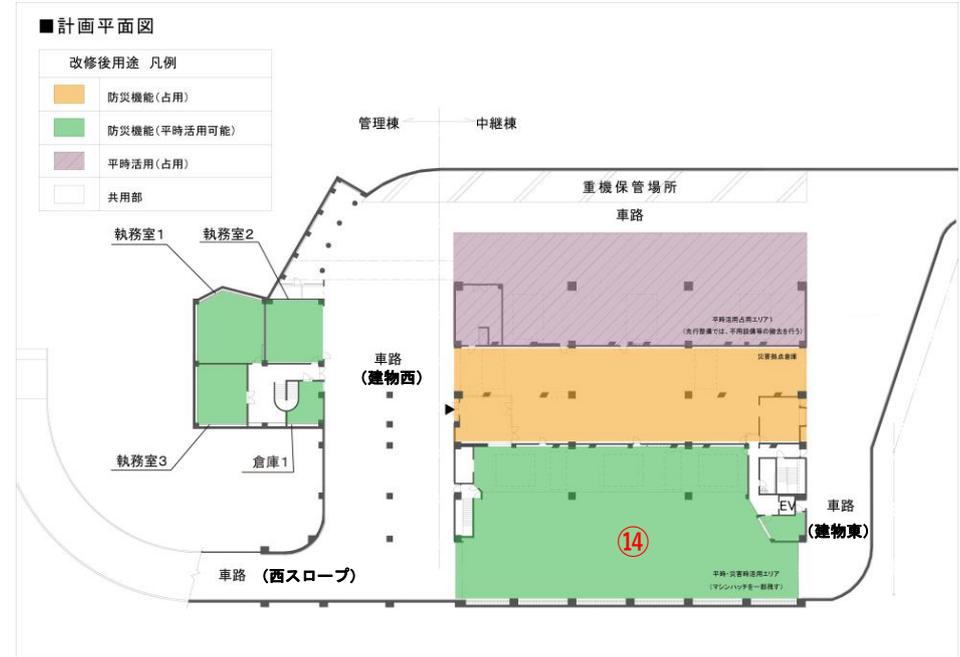
具体的な活用案

- 施設管理者、スタッフ等の駐車場・駐輪場
- 物品一時保管場所

現地写真



位置図



エリアの特性

- 天井高が6.5mあります。
- ダクトまでの高さは4.5mあります。
- 施設壁面及び柱の下に排水溝があり、盛り上がった中央部から排水溝に向かって両方向に排水勾配が付いています。
- 両側にあるシャッターが閉まっていると、施設外部に音が漏れません。
- ストリートスポーツでの利用の際は、床面の改修が必要です。
- 北側には深さ2m以上のホッパーがありますが、シャッターを閉めるなど対策を講じることで、安全に利用することができると考えられます。

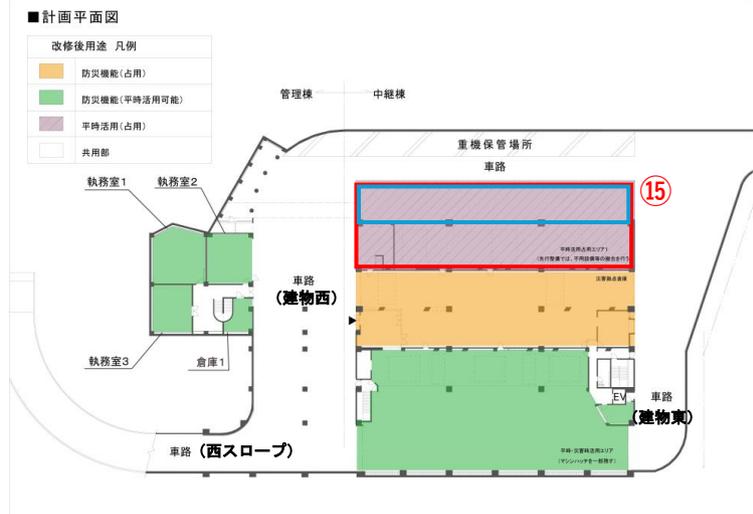
特性を踏まえた整備の方針等

- 長さは約45m、幅は約13mあるため、ストリートスポーツで、長い距離を活かし、中央部の45m×7mを一方向利用することが可能であり、かつ、両脇45m×3m×2レーンを周回して利用することが可能です。
- エリアの北側には機械設備が残っており、撤去することでより広いスペースを活用できます。
- 災害時に防災拠点となるため、中央部に構造物を一時的に置くことは出来ませんが、数人での移動が可能な構造物のみ設置できる点に留意が必要です。

具体的な活用案

- 初心者向けストリートスポーツの利用エリア
- ストリートスポーツ以外のアーバンスポーツの利用エリア
- 一時的なイベント会場(ケータリング・キッチンカー等飲食販売・物品販売)

現地写真 位置図



エリアの特性

- ⑯地下2階: 平時活用占用エリア2(機械室)とホッパー設備でつながっています。
- 地元消防団が訓練スペースとして使用しています。
- 屋根の下の天井や壁には吸音材が設置してありますが、外部に対して遮蔽物がありません。

特性を踏まえた整備の方針等

既存の機械や構造物を残す場合	既存の機械や構造物を撤去する場合
<ul style="list-style-type: none"> • 半屋外の約7m×45mの青枠 部が活用できます(約315㎡)。 • 残存の機械類への衝突や落下の危険を回避する必要があるため、バリケードなどの設置が必要です。 • 近くに防災拠点の重機保管場所があるため、利用する場合は、十分な安全性の確保が必要です。 • 音の出る利用には制限が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> • より広いスペース赤枠 部(約592.18㎡)が確保できるので、直線距離も長く取ることが可能であり、多様な用途に使用することができます。 • 機械を撤去することで、重機保管場所や消防の訓練箇所と距離をとれるため、安全性の確保が可能です。 • 音の出る利用には制限が必要です。

具体的な活用案

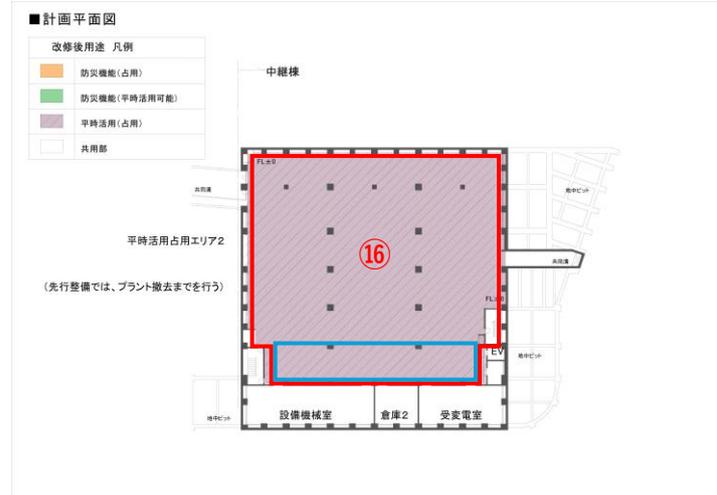
既存の機械や構造物を残す場合	既存の機械や構造物を撤去する場合
<ul style="list-style-type: none"> • ランニング・トレーニングエリア • カフェ・キッチンカー等、一時的な飲食販売・物品販売の場 • 移動可能な用具の収納場所 	<ul style="list-style-type: none"> • ボルダリングやパルクール、スラックライン等利用場所 • ランニング・トレーニングエリア • カフェ・キッチンカー等、一時的な飲食販売・物品販売の場

※ 既存の機械や構造物を撤去するかについては検討中であるため、「残す場合」と「撤去する場合」に分けて掲載しています

現地写真



位置図



エリアの特性

- 巨大なごみ処理設備が残っている。フロア内に最大1.8mほどの高低差があります。
- 水気が溜まりやすく、床が滑りやすいです。
- 音は反響するが、外部に漏れる可能性は低いです。

特性を踏まえた整備の方針等

既存の機械や構造物を残す場合

- 都内においては類似の施設が少ないため観覧や撮影などの利用が考えられますが、機械等の突起物が多数あるため、利用する場合は施設職員が随行する等の安全性の確保が必要です。
- 約5m×39mの青枠部が活用できます(約195㎡)。
- 換気機能の確保について検討が必要です。

既存の機械や構造物を撤去する場合

- 屋内に広いスペース赤枠部(約1,813.5㎡)が確保できるので、多様な用途に活用することが可能です。
- 躯体の構造上、機械を撤去しても大きな段差が残るため、段差を有効活用できる利用方法があれば追加のコストがかかりません。
- 施設外部に音が漏れにくいいため、音の出る利用が可能です。
- 平時活用占有のエリアであるため、上級者向けに大規模な固定型の設備を設置することも可能です。

具体的な活用案

既存の機械や構造物を残す場合

- 見学・撮影用施設
- 倉庫

既存の機械や構造物を撤去する場合

- ストリートスポーツやパルクール、ダブルダッチ、ボルダリング、3×3バスケットボール、ブレイキン(ブレイクダンス)等の専用エリア

※ 既存の機械や構造物を撤去するかについては検討中であるため、「残す場合」と「撤去する場合」に分けて掲載しています

5. 建物周辺の路面調査・迷惑行為発生の可能性調査

調査結果概要

- 調査範囲全体で見ると、ストリートスポーツによる迷惑行為の発生が懸念される場所は多くはありませんが、駅周辺や公園内には複数確認できました。
- 井荻駅の北口および南口付近の数か所では、ストリートスポーツの利用痕跡が認められました。
- 上井草駅周辺では、ストリートスポーツによる迷惑行為の発生が懸念される場所は、ほとんど見当たりませんでした。

分析結果

- 現時点でストリートスポーツによる迷惑行為の発生が懸念される場所は多くはなかったですが、今後施設ができることによって、施設利用者が用具を持って集まることが予想される駅周辺や公園内での移動、施設周辺での練習等の迷惑行為の発生が懸念されるため、施設を整備する場合は対策を講じる必要があります。
- 調査範囲内の路面は全体的に良好で、坂道も多かったため、施設が整備された場合は、ストリートスポーツの利用の可能性がります。
- 井荻駅の北口と南口をつなぐ地下歩道では、雨天時や夜間にストリートスポーツの利用が発生する可能性があり、自転車や歩行者との事故等が起きる恐れがあります。
- 現状の施設周辺の調査範囲内においては、ストリートスポーツによる迷惑行為の発生は認められませんでした。これは井草森公園内に普段からゴミなどが散乱していない事からも、地域全体のマナー意識が高いためであると考えられます。

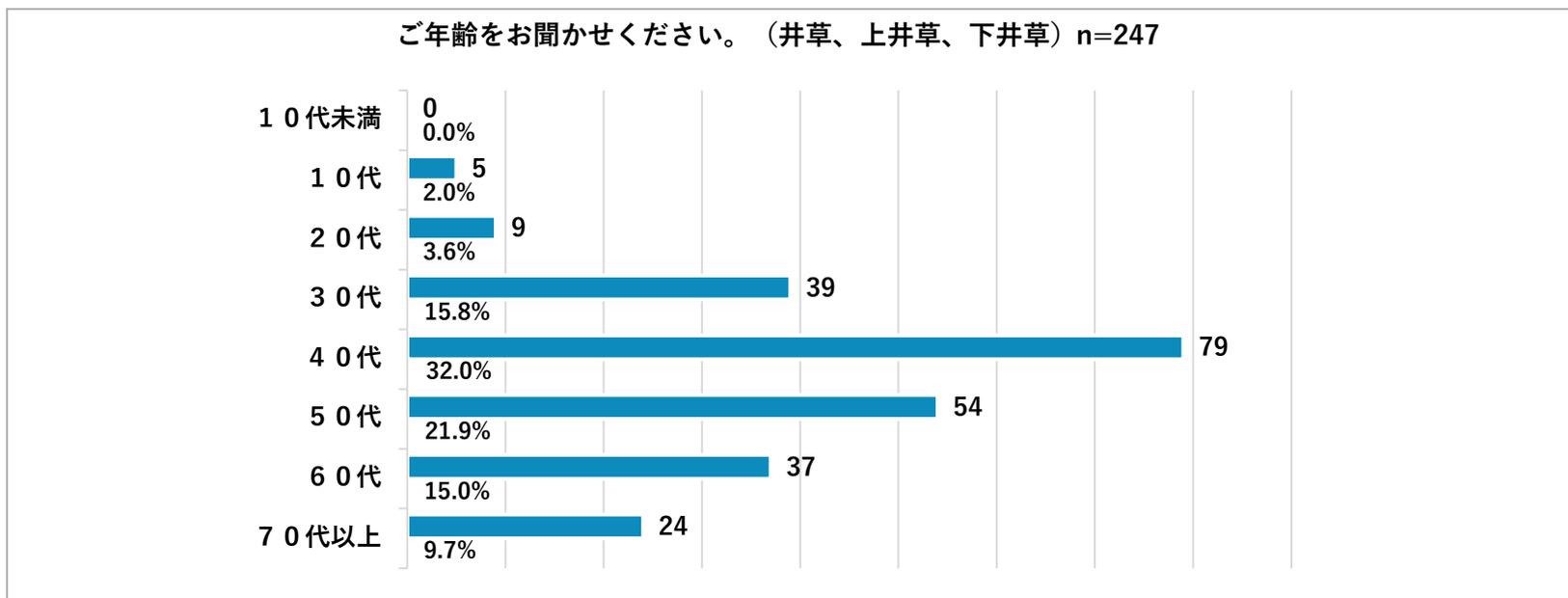
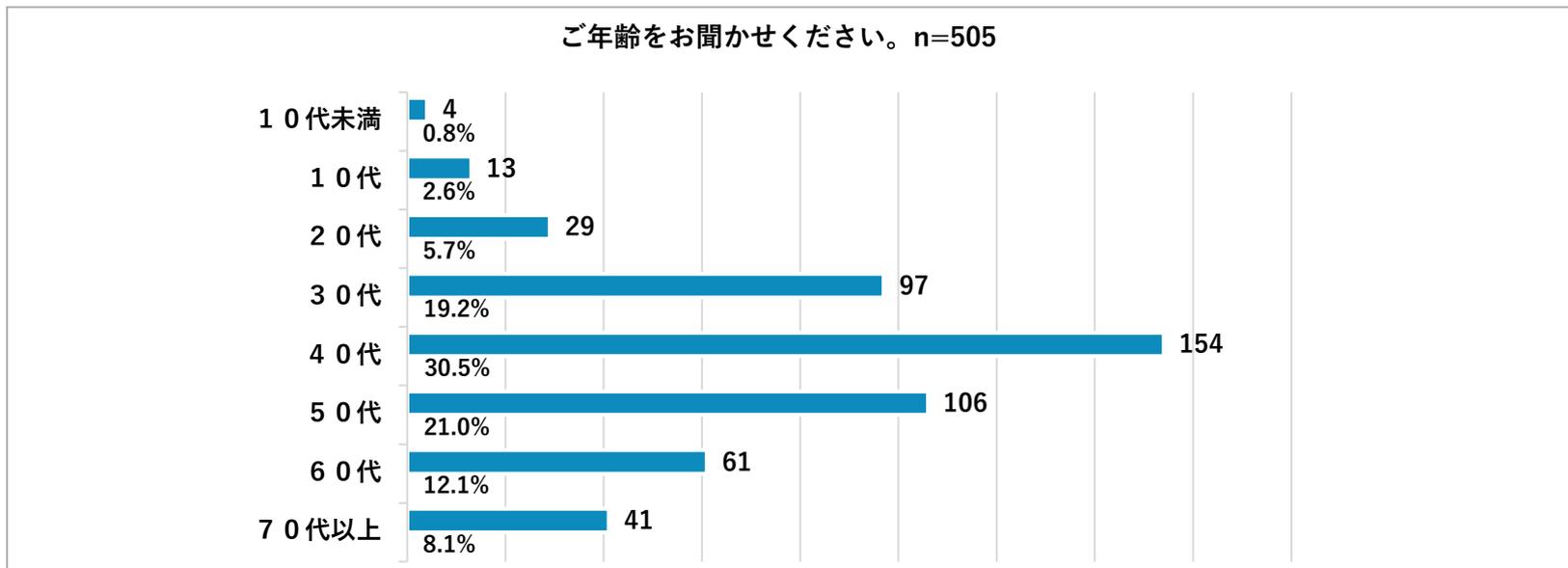
5. 建物周辺の路面調査・迷惑行為発生の可能性調査

迷惑行為に対する対策案

- 井草森公園地内の歩行路の一部及びスロープ、縁石、モニュメント等には、物理的に凹凸を設け、ストリートスポーツが利用できないよう対策する。
- 井草森公園地内及び周辺道路、駅前等にストリートスポーツの利用禁止の看板を設けると同時に、アーバンスポーツ施設(利用可能場所)への案内を掲示し、施設への誘導を促す。
- 井草森公園内を施設管理者が定期的に巡回し、付近に滞留しているストリートスポーツ等の利用者がいれば施設へ誘導する。
- 施設利用者には、利用登録の際に施設周辺の公園、道路、歩道等での利用及び迷惑行為を行わない等の制約に同意してもらう。
- 器物破損等の損害を発生させた場合には、自己責任と賠償責任を負うことを周知する。
- 施設開設後に迷惑行為があった場合の対応方法について、利用者団体と地域住民等が協働し、あらかじめルール作りをする。
- 利用者団体と地域住民等が協働し、マナー及びモラル向上に取り組む。
- 利用者団体と地域住民等が、施設管理者を交えて定期的に施設管理に係る意見交換会等を実施し、管理方法や問題点の解決及び対策・実施に向けた協議を継続的に行えるよう取り組む。
- 駅前や井荻駅等の施設から離れた箇所及び民間敷地、公道等に対する対策案としては、当該地域における地域住民の考えを充分周知する必要がある、それらを施設利用者が理解することが必須となる。そのために、利用者団体と地域住民等が、定期的な交流などを通して相互理解を深める機会や、利用者に対するマナー講習等を通じて、地域の理解があってこそその施設であり、みんなで施設を守っていくという意識を共有する仕組みを構築する必要がある。
- スケートボードなどの道具は、必ずバッグに入れて持ち込むものとする。

6. 施設に関する需要・意識調査(アンケート)

問:ご年齢をお聞かせください。

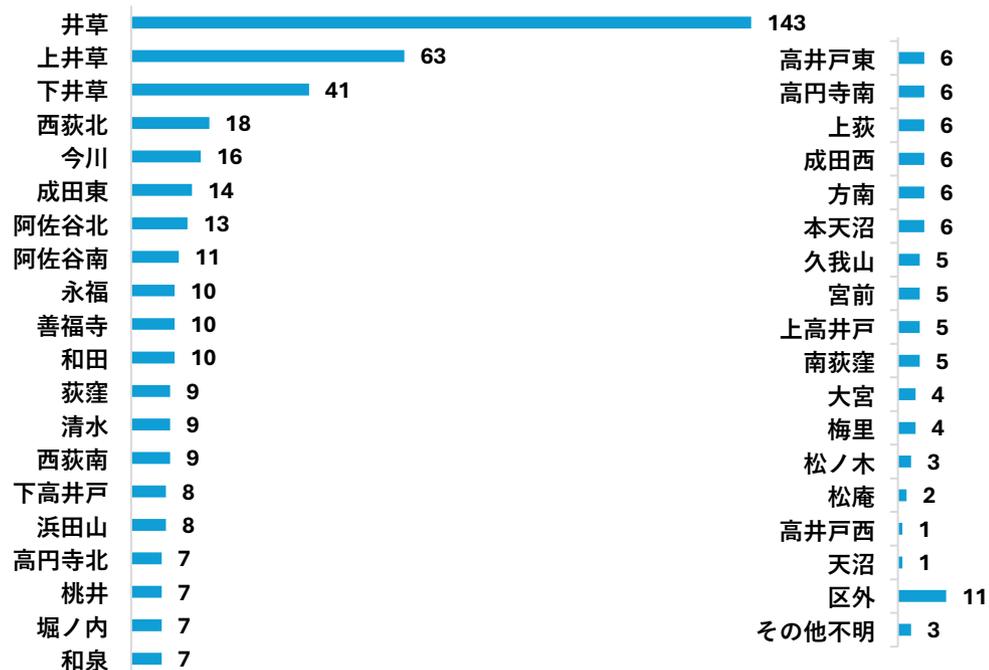


- アンケートに回答した年齢層は、40代を中心に幅広く回答が得られました。

6. 施設に関する需要・意識調査(アンケート)

問:ご住所(町名)をお聞かせください。

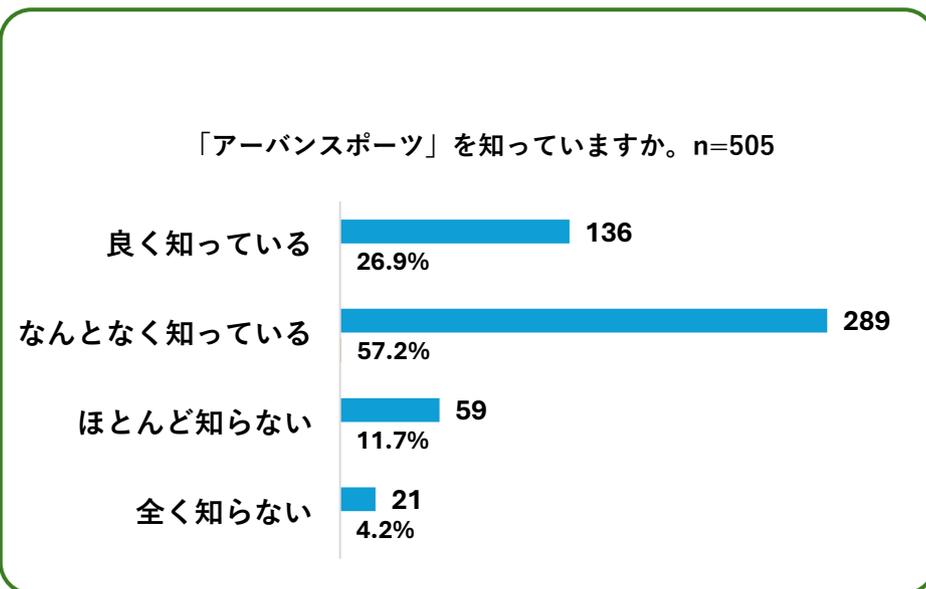
ご住所をお聞かせください。①(町名) n=505



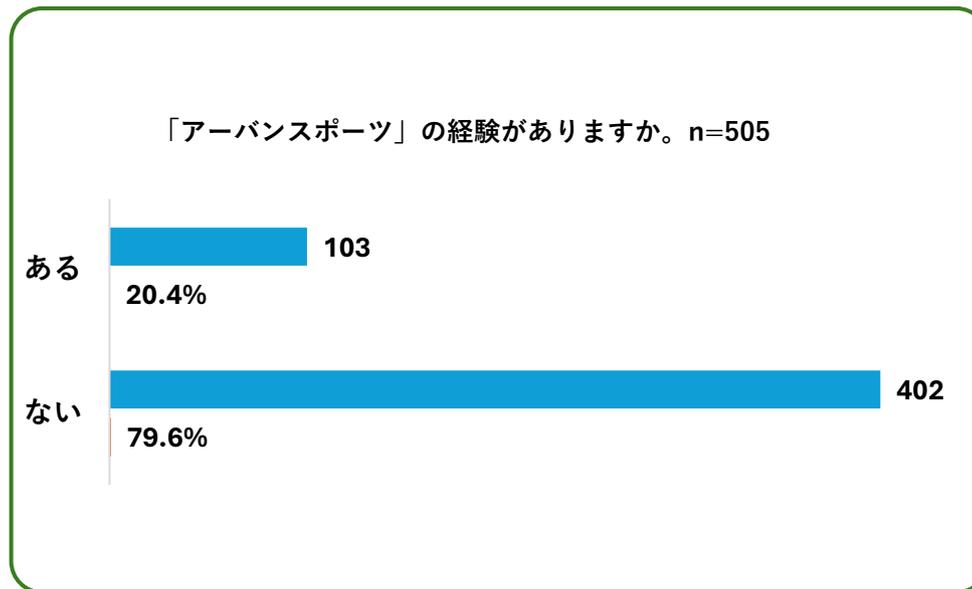
- アンケートに回答した方々のお住まいは、施設に隣接する「井草、上井草、下井草」の方々を中心に、区内全域にわたって幅広く回答が得られました。

6. 施設に関する需要・意識調査(アンケート)

問:「アーバンスポーツ」を知っていますか。



問:「アーバンスポーツ」の経験がありますか。



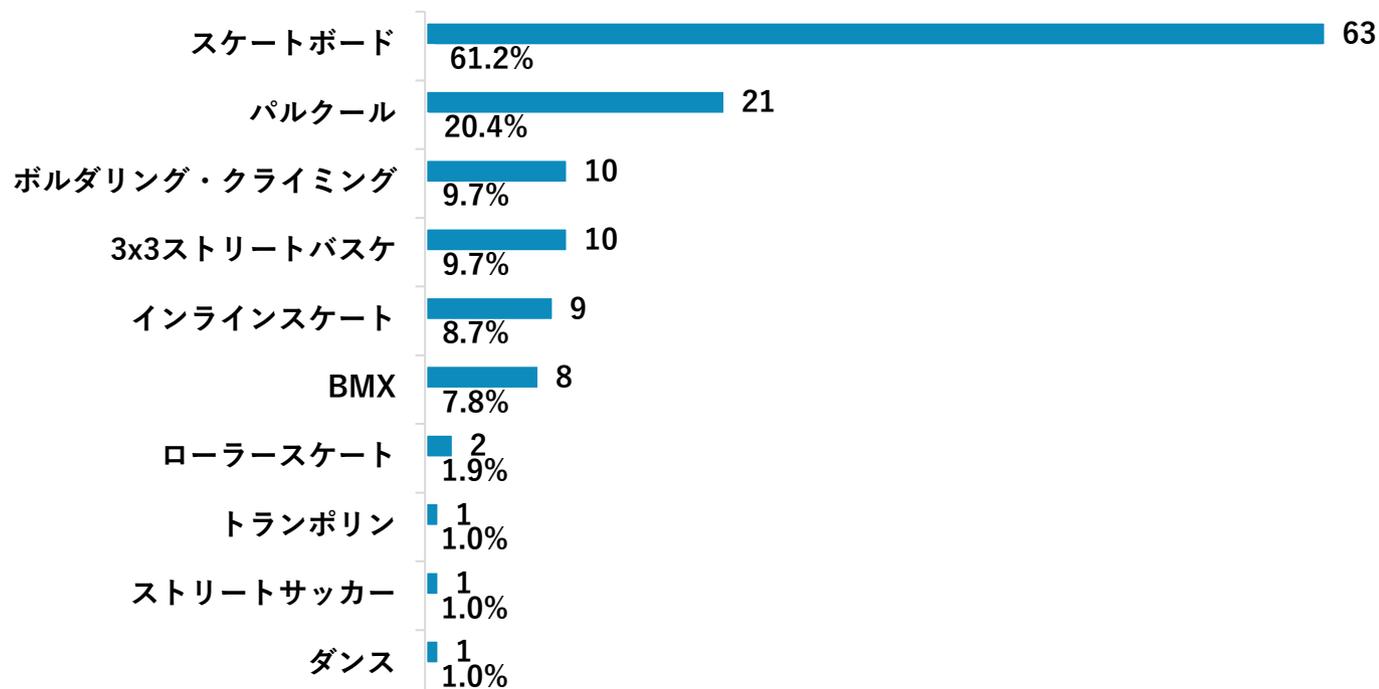
- アーバンスポーツの認知度に関しては、80%以上の方々が何らかの形で認知していることが分かりました。
- アーバンスポーツの経験に関しては、約80%の方々が「ない」と回答しましたが、約5人に1人は何らかの形でアーバンスポーツの経験があることが分かりました。

6. 施設に関する需要・意識調査(アンケート)

問: 経験があるアーバンスポーツの種目をお聞かせください。

アーバンスポーツの経験があると答えた103名(20.4%)への質問
経験があるアーバンスポーツの種目をお聞かせください。(複数回答を含む)

n=103

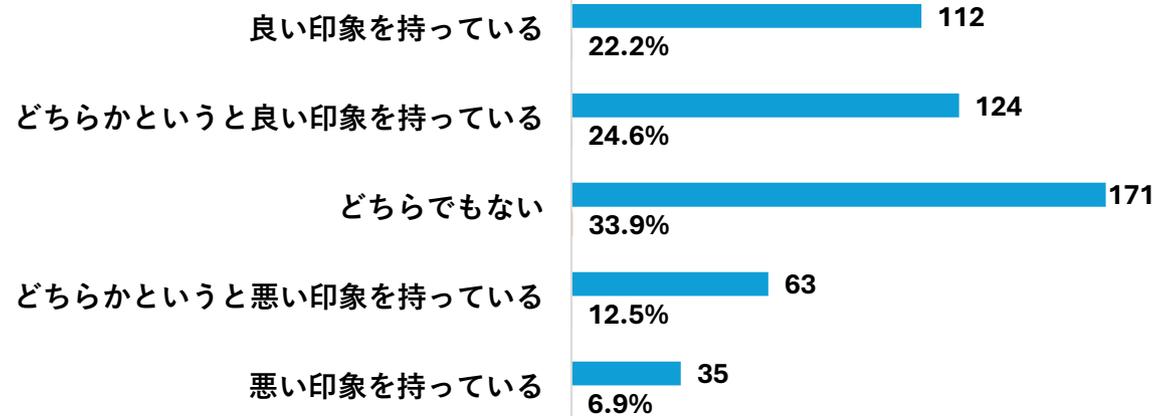


- アーバンスポーツ経験者に、経験した事のある種目を伺ったところ「スケートボード」「パルクール」の経験者が多いことが分かりました。

6. 施設に関する需要・意識調査(アンケート)

問:「アーバンスポーツ」にどのような印象を持っていますか。

「アーバンスポーツ」にどのような印象を持っていますか。 n=505



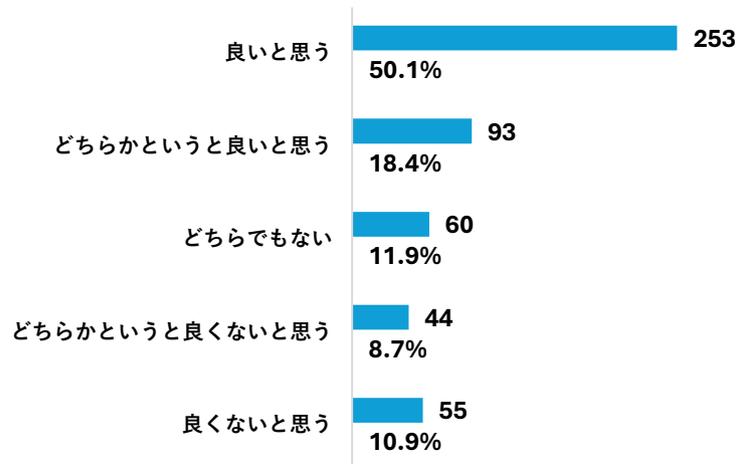
「どちらかというが悪い印象を持っている」または「悪い印象を持っている」と回答した理由(自由記述)抜粋

- ・ 街中をスケートボードで走って交通の妨げになっているケースをよく見かけるため。
- ・ 若い悪い子が騒いでいる印象があるから。
- ・ 騒音や近所迷惑になるイメージがある。
- ・ マナーが良くない人が多い印象。
- ・ アーバンスポーツ自体には悪いイメージは持ってないが、一部プレイヤーのモラルについては懸念があります。
- ・ やんちゃな人達がやっている印象を持っている。

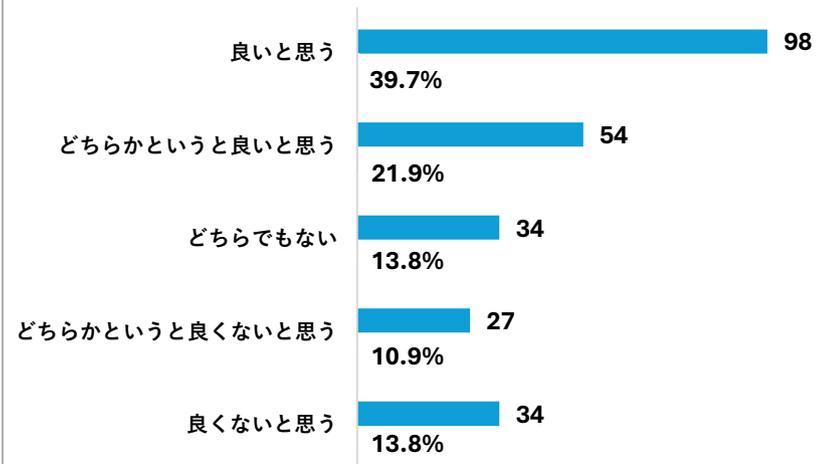
6. 施設に関する需要・意識調査(アンケート)

問: 区内にアーバンスポーツができる施設を整備することについてどう思いますか。

区内にアーバンスポーツができる施設を整備することについてどう思いますか。n=505



区内にアーバンスポーツができる施設を整備することについてどう思いますか。
(井草、上井草、下井草) n=247



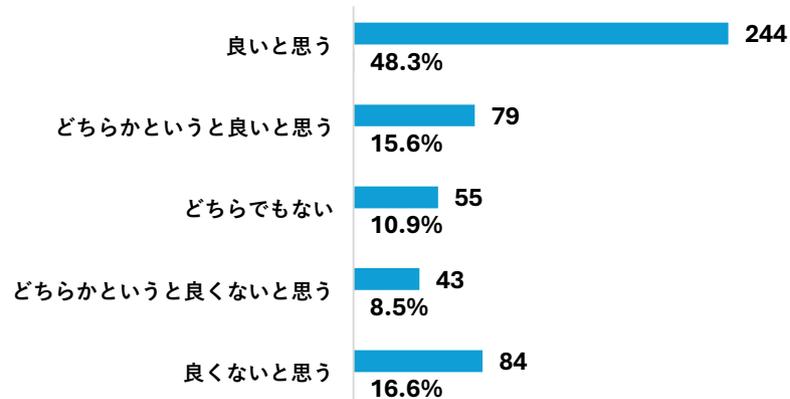
- 区内にアーバンスポーツができる施設を整備することについては、アンケート全体の68.5%の方々が「良いと思う」「どちらかというが良いと思う」と回答しました。
- 施設に隣接する(井草、上井草、下井草)地域についても、施設整備に肯定的な意見が多いことがわかりました。
- 「良くないと思う」「どちらかというと良くないと思う」と答えた方は合わせて19.6%と2割近くいました。

6. 施設に関する需要・意識調査(アンケート)

問: 旧杉並中継所をアーバンスポーツができる施設として活用することについてどう思いますか。

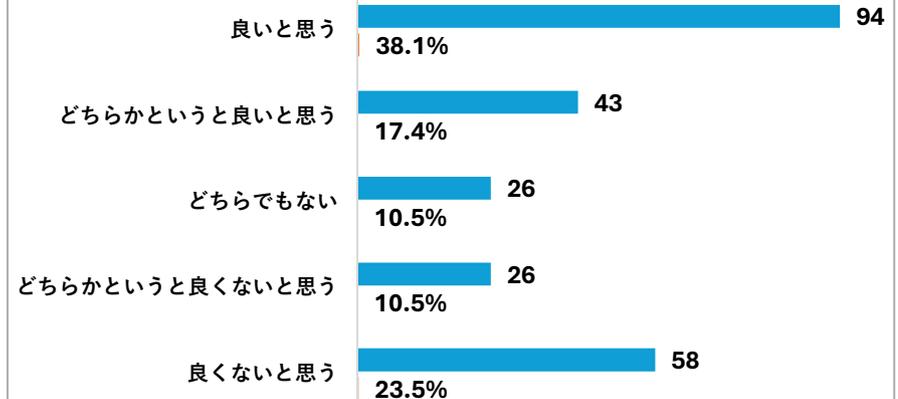
旧杉並中継所をアーバンスポーツができる施設として活用することについてどう思いますか。

n=505



旧杉並中継所をアーバンスポーツができる施設として活用することについてどう思いますか。

(井草、上井草、下井草) n=247

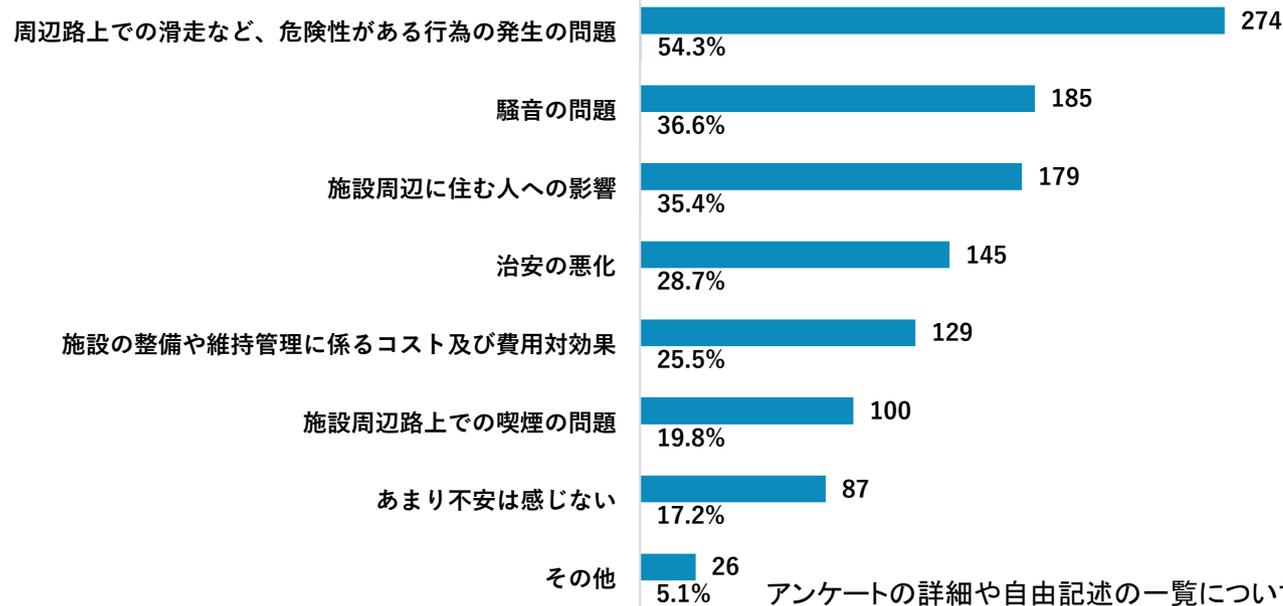


- 旧杉並中継所をアーバンスポーツができる施設として活用することについては、アンケート全体の63.9%の方々が「良いと思う」「どちらかというと思う」と回答しました。
- 施設に隣接する(井草、上井草、下井草)地域についても、施設活用に肯定的な意見が多いことがわかりました。一方で34.0%の方が「良くない」「どちらかというと思う」と回答しました。

6. 施設に関する需要・意識調査(アンケート)

問:仮に旧杉並中継所にアーバンスポーツ施設を整備した場合、心配に思うことや課題だと思うことは何ですか。

仮に旧杉並中継所にアーバンスポーツ施設を整備した場合、
心配に思うことや課題だと思うことは何ですか。
(複数回答 3項目まで選択可) n=505



アンケートの詳細や自由記述の一覧については別冊をご覧ください。

旧杉並中継所にアーバンスポーツ施設を整備した場合、心配に思うことや課題だと思う事について(自由記述)抜粋

- 路上での滑走についての注意事項や、場合によってはペナルティなど明確化しての使用承諾をとるなど、検討していただけると、アーバンスポーツを楽しむ人も、近隣住民も安心してお互い様での環境になると思います。
- 利用者が増えて、交通事故が起きないか、とても心配です。
- 集まってくる自転車の駐輪問題に懸念がある。
- 車の渋滞や路上駐車。

6. 施設に関する需要・意識調査(アンケート)

問:仮に旧杉並中継所にアーバンスポーツ施設を整備する場合、どのような施設なら区民の皆さんが使いやすいと思うか(自由記述)抜粋。

地域住民が求める施設について

- 若者だけでなく中高年でも楽しめる施設の運用も考えて欲しい。
- 周辺環境を含めマナーを守って使える施設になってほしい。
- 高齢者や小さい子どもも遊びや趣味等ができるコミュニティとして楽しめる場所にしてほしい。

(意見の傾向)

施設の整備の需要や、施設に関する地域住民等の意識について、それぞれの自由記述回答を見ると、「多世代・多目的利用」「地域の活性化」「学習の機会」の場としての施設が求められていることが分かりました。また、施設を整備するにあたっては、周辺環境への配慮や利用者がマナーを守って使える施設になって欲しいと願う意見が多いことも分かりました。

アーバンスポーツができる施設を希望する人の意見(自由記述)抜粋。

- 利用者がマナーを守って利用することを大切にしている施設。
- アーバンスポーツの体験会や教室などがあると良いと思う。
- ファミリーで訪れることができるような施設。

(意見の傾向)

アーバンスポーツができる施設を希望する人の意識については、利用者がマナーを守る手本となれるよう、体験会や教室を通じて、子どもから大人まで利用できる施設となることを願う意見が多いことが分かりました。

アーバンスポーツができる施設を希望しない人の意見(自由記述)抜粋。

- 明るくて小さい子どもたちが中心に使うところだと思っています。
- アーバンスポーツに限定せず、広く区民が利用できる設備を併設する。
- アーバンスポーツ施設そのものに反対です。

(意見の傾向)

アーバンスポーツができる施設を希望しない人の意識については、アーバンスポーツに限定せず、広く区民が利用できる施設とし、子ども達を中心に利用できる場所を望む意見が多いことが分かりました。また、利用者のマナーに関して不安を感じる意見が多く、アーバンスポーツそのものの理解を深める必要があることが分かりました。

6. 施設に関する需要・意識調査(アンケート)

問:旧杉並中継所をアーバンスポーツができる施設以外で活用する場合、どのような活用方法が考えられると思うか(自由記述)抜粋。

アーバンスポーツ以外で活用する場合の施設整備に関する意識について

- ボールが使える広い場所(テニス、卓球、バスケットボール等)。
- トレーニング設備のある運動施設。
- 音楽(コンサート、イベント等)ができるスペース
- カフェ、キッチンカー等飲食スペース

(意見の傾向)

アーバンスポーツに限らず多目的に活用できる場として、球技やトレーニング施設、音楽などを楽しめる場所としての活用方法に関する提案や意見があることが分かりました。

アーバンスポーツができる施設を希望する人の意見(自由記述)抜粋。

- 年齢関係なく学んだり楽しめるイベントができる会場。
- 吹奏楽などの音楽が練習できるスペース。
- 集会所など、地域の休憩所。

(意見の傾向)

アーバンスポーツに肯定的な立場の方々からは、「学びの場」「楽器の演奏」等として活用する意見があることが分かりました。また「アーバンスポーツに対する近隣住民の理解が必須である」という意識から、「地域交流の場」としての活用案の提案がありました。

アーバンスポーツができる施設を希望しない人の意見(自由記述)抜粋。

- 高齢者が安全にスポーツをできる場所、太極拳など。
- 多目的利用ができるような仕様にしてほしい。
- 地域住民と特に高齢者の交流施設。

(意見の傾向)

アーバンスポーツに否定的な立場の方々からは、多目的に高齢者がスポーツ場所としての活用方法に関する提案や意見がありました。また、肯定的な立場の方々同様に、「地域交流の場」としての活用案の提案がありました。

7. 施設整備に向けた合意形成(意見交換会) 第1回

第1回意見交換会の内容・傾向

第1回のグループワークでは、参加者が自分の意見を付せん書き、模造紙に自由に貼りながら意見交換をしました。

(1) 施設を整備するにあたって区や地域に与える影響、課題などについての意見交換

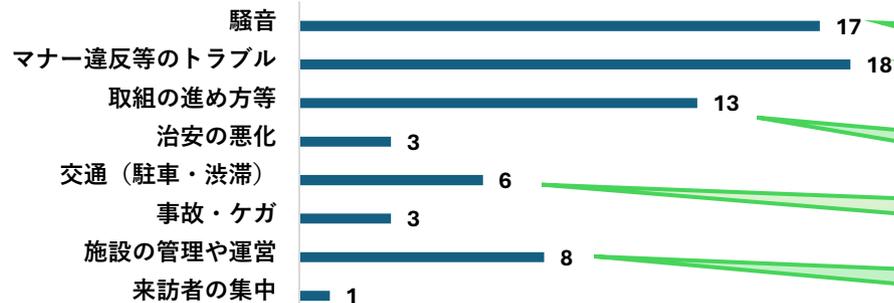
「区や地域にとって嬉しい影響」 n=67



【主な意見】

- 子どもと大人のコミュニケーション増進
- アーバンスポーツ×防災で若年層の防災意識UP
- 子ども達の遊び場が増える。雨でも遊べる施設
- スポーツを通じて高め合える
- スポーツの新たな選択肢追加
- 子どもの体育レベルUP(東京都は低い)
- この地域に目立った施設がないのでランドマーク的な場所になる
- 商店街に活気が出る

「区や地域にとって心配な影響」 n=69



【主な意見】

- 騒音トラブル⇒他の自治体よりも気を付ける必要あり
- 利用者による騒音が心配
- パークに行くまでにゴミを散らかす人がいるかもしれない
- 公道での利用者滑走問題
- 利用者と住民の方で見方が違う。
- 住民の不安 音、治安⇒きちんと説明し納得してもらおう
- 駐車スペース 路上駐車が増えそう
- 井荻駅からの動線が狭い道が多いので、渋滞や事故が心配
- 地下1階、地下2階の換気が心配
- 利用時間帯がどうなるか？ 夜はくらいので・・・

「課題・その他」 n=47

【主な意見】

- あくまで区民のため、アーバンスポーツでもいろいろな人ができること
- アーバンスポーツ以外で使えるもの 利用できるものもあれば
- 色々な種目があるのでアーバンスポーツの一言では分かりづらい
- 地域の住民の方がこの取組を知らない
- 併設で別の利用者も(食事、休けい)
- アーバンスポーツ施設ができているが杉並区だけまだない
- 近隣住民に対して騒音の体感テストなどを行って欲しい
- 料金について、区民はフリーもしくは安く。区外は有料
- 駐車場が周囲にすくないと思う
- プレイヤーだけでなく、交流の場も必要

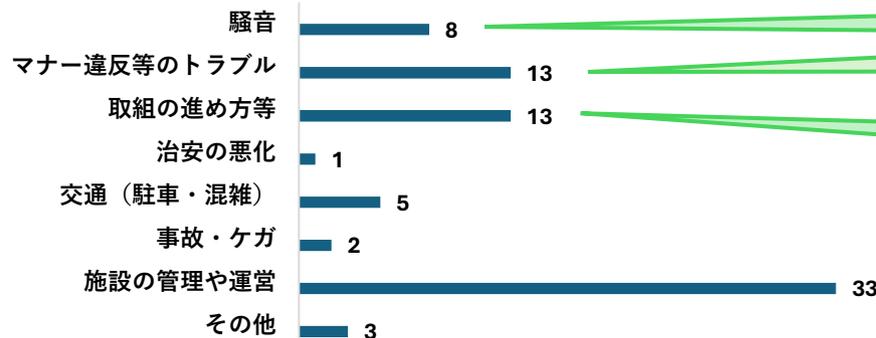
7. 施設整備に向けた合意形成(意見交換会) 第1回

第1回意見交換会の内容・傾向

(2)「区や地域にとって心配な影響」や「課題・その他」に対する「解決策」及び施設に対する「意見・提案」

「区や地域にとって心配な影響」や「課題・その他」に対する

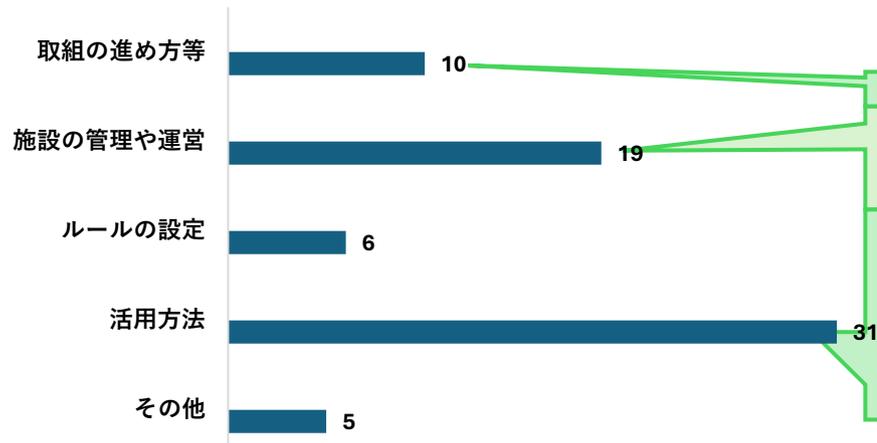
「解決策」 n=78



【主な意見】

- ・ シャッターを閉めると音は外にもれない
- ・ 物理的な騒音防止策を講じる(遮音壁・幕等)
- ・ 安全に滑るために公道等では滑らない 施設を利用する
- ・ 近隣の交通ルールの掲出必要
- ・ 一度アーバンスポーツのプレゼンテーションの場をつくる
- ・ 運営団体と住民の意見交換必要
- ・ 利用者を登録制にする
- ・ クレーム等の窓口をわかりやすくする。
- ・ 老若男女利用できる施設にする。
- ・ 利用者が運営に参加する(そうじ、受付、スクールとか)
- ・ 利用者が災害対策時にスタッフ側で動けるように訓練

施設に対する「意見・提案」 n=71



【主な意見】

- ・ 情報発信
- ・ 利用者協議会の設置
- ・ 利用料金 ・年齢で区切る ・時間帯で区切る
- ・ 混雑状況がスマホで確認できる
- ・ 近隣住民との交流スペース
- ・ アーバンスポーツにかぎらず 他の施設も平等にしてほしい
- ・ 軽食を食べられる または、買える場所があると良いのでは
- ・ 会議室があるとべんりー近くにない
- ・ イベント施設としての開放
- ・ 多世代型の施設

7. 施設整備に向けた合意形成(意見交換会) 第1回

第1回意見交換会のまとめ

第1回意見交換会では、参加者の皆さんに旧杉並中継所の跡地活用の検討経過について説明し、アーバンスポーツについての説明を行いました。その後に参加者の皆さんに下記の検討を行っていただきました。

- ・「区や地域にとって嬉しい影響」
多く出た意見:【地域経済の活性化】【地域コミュニティの強化】
- ・「区や地域にとって心配な影響」
多く出た意見:【マナー違反等のトラブル】【騒音】
- ・「区や地域にとって心配な影響」や「課題・その他」に対する「解決策」
多く出た意見:【施設の管理や運営】【マナー違反等のトラブル】【取組の進め方等】
- ・施設に対する「意見・提案」
多く出た意見:【活用方法】【施設の管理や運営】

第1回の意見交換会では、これまで杉並区には設置実績のないアーバンスポーツ施設を新たに設置する場合に区民がどのように受け止めるのかについて、アーバンスポーツに関する説明を行ったうえで、意見や感じていることを調査しました。その結果、アーバンスポーツ施設の整備で、地域に良い影響があるという意見も、心配な影響があるという意見もどちらも多く出されました。

良い影響として多く挙げられた「地域コミュニティの強化」についてですが、アーバンスポーツは、利用者間のコミュニケーションが起こりやすく、ルール作りなどを通じて、地域とのつながりを生むことも期待できるという特徴を持っており、「地域コミュニティの強化」につながる可能性を秘めていると考えられます。

一方、心配な意見として挙げられた、「マナー違反等のトラブル」については、アーバンスポーツの中でも特にスケートボードを代表とするストリートスポーツに対する心配や懸念、課題等の意見が多いことが分かりました。

次回(第2回)の意見交換では、懸念点や課題について意見交換を行う必要があると考えました。

7. 施設整備に向けた合意形成(意見交換会) 第2回

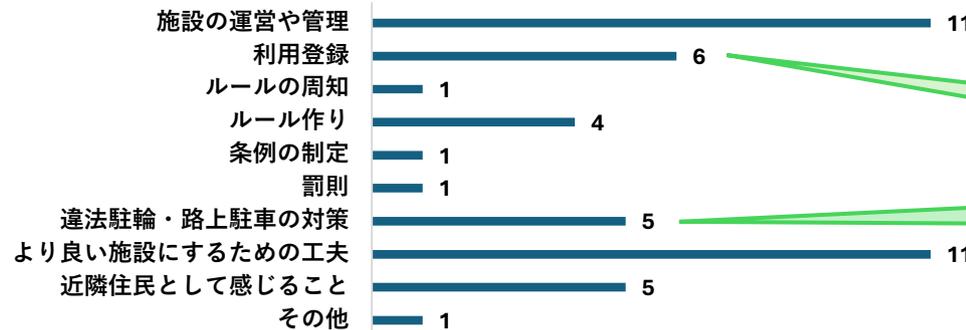
第2回意見交換会の内容・傾向

第2回のグループワークでは、参加者が自分の意見を付せん書き、模造紙に自由に貼りながら意見交換をしました。

■ストリートスポーツができる施設を整備する場合の課題と解決策の検討

(1) 施設外部で起こるかもしれない課題について

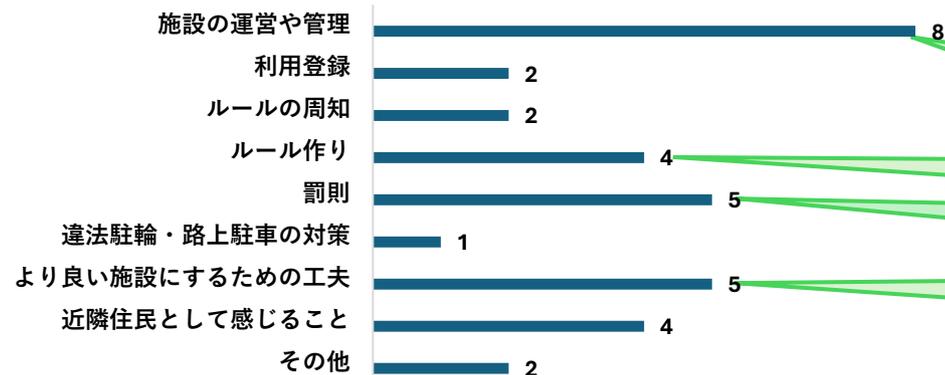
騒音問題（公道・公園での滑走、施設利用時間外の音（話し声）
など）の対応策や解決策 n=46



【主な意見】

- 予約制にする
- 管理事務所を設置する
- 防犯カメラの設置
- 利用登録制にする
- 定員を設ける
- 駐車場を増やしてほしい
- 自転車置き場(専用)を設置
- 公道で滑らせない工夫
- 公園内のパトロール強化

マナー問題（ゴミのポイ捨て、路上駐車など）の対応策や解決策
n=33



【主な意見】

- 警備員の巡回
- ゴミ入れ設置
- 利用登録時にルールを遵守してもらう啓発活動を行う
- まず講習、更新する→守れないのは更新しない
- 苦情回数によってパークを閉鎖する
- マナー違反が積み重なったら完全閉鎖(期間限定ではなく)
- 意識の打開、利用者を育てるため、利用者協議会を作り、地域との共存

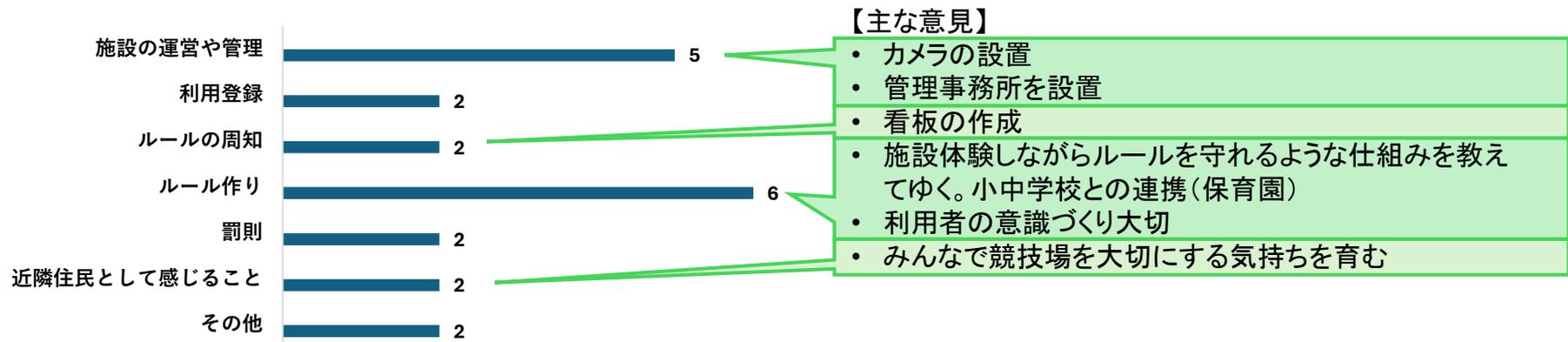
7. 施設整備に向けた合意形成(意見交換会) 第2回

第2回意見交換会の内容・傾向

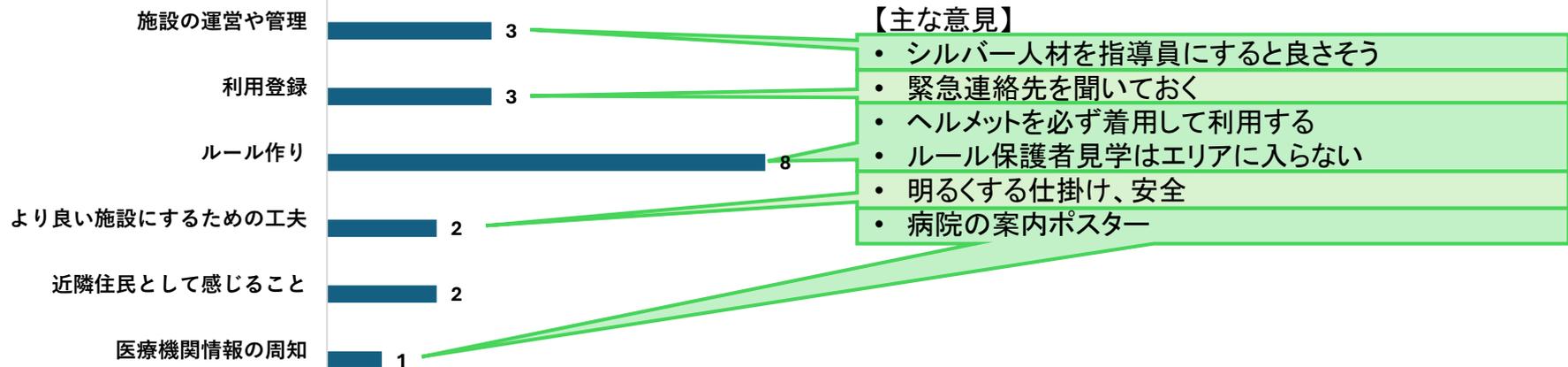
■ストリートスポーツができる施設を整備する場合の課題と解決策の検討

(2)施設内部で起こるかもしれない課題について

ルール違反問題（ゴミの置き去り、ルールを守らない人への対応など）の対応策や解決策 n=21



事故やけがを防止するための対応策や解決策 n=19



7. 施設整備に向けた合意形成(意見交換会) 第2回

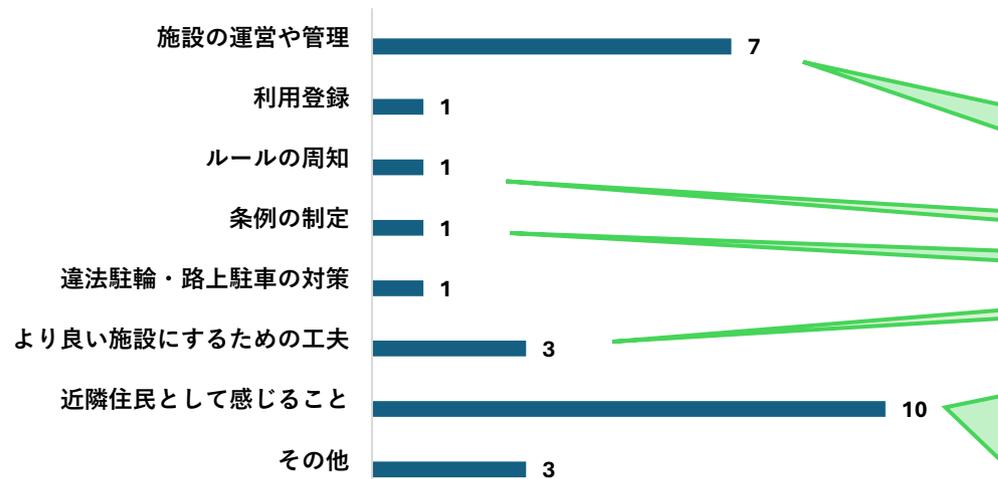
第2回意見交換会の内容・傾向

■ストリートスポーツができる施設を整備する場合の課題と解決策の検討

(3)その他に考えなければならない課題に対する対応策や解決策

その他に考えなければならない課題に対する対応策や解決策

n=27



【主な意見】

- 施設の利用時間、有人で管理できれば21時まででも良い
- 冬17:00まで、夏19:00まで良いと思う
- 注意看板も必要→書き方の工夫も
- 条例
- クラウド、ネーミングライツ、ふるさと納税
- バリアフリー対策をして欲しい
- 施設内は広いので住み分けられそう
- 早く閉めすぎると外でやっちゃいそう
- 公園東側の入口、夜は暗い、こわい、安全に
- ストリートスポーツは止めてほしい
- 競技人口→真剣に取り組んでいるのは子どもの方が多い
- 第一種低層住居専用地域にスポーツ施設は作れない
- 夜まで利用していた子ども、帰り道も安全に！！

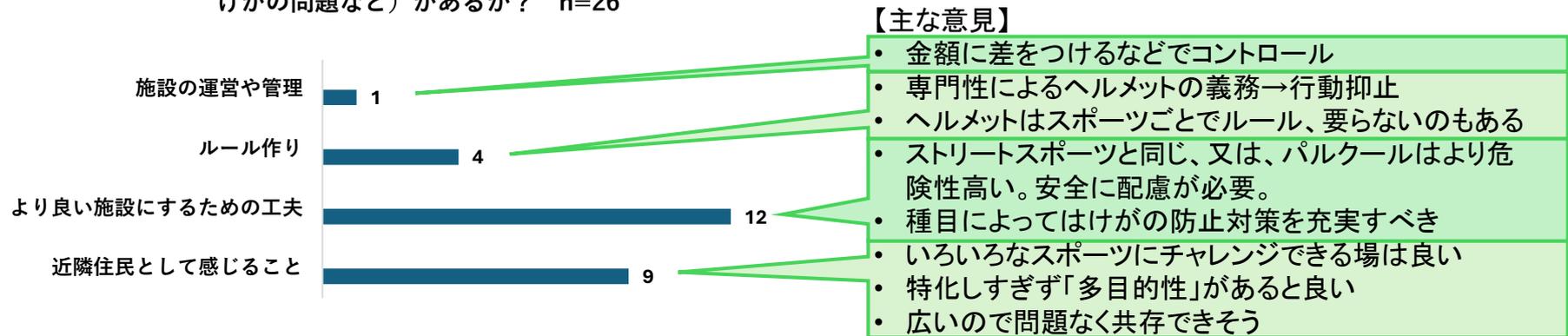
7. 施設整備に向けた合意形成(意見交換会) 第2回

第2回意見交換会の内容・傾向

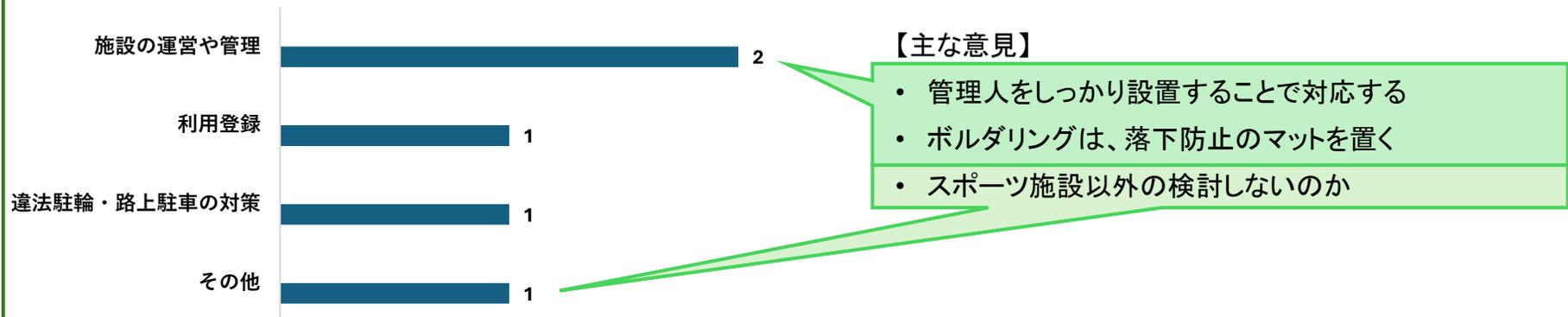
■ストリートスポーツ以外のアーバンスポーツへの懸念や課題について

(4) パルクール・ボルダリング・スラックライン等、ストリートスポーツ以外のアーバンスポーツについて

ストリートスポーツと同様もしくはストリートスポーツとは別の課題や懸念（施設外部の騒音、ゴミのポイ捨て、路上駐車、けがの問題など）があるか？ n=26



課題や懸念がある場合はストリートスポーツと同様の解決策で対応は可能か？ n=5



7. 施設整備に向けた合意形成(意見交換会) 第2回

第2回意見交換会のまとめ

第2回意見交換会では、第1回の意見交換会で出た意見等を振り返り共有し、第1回の意見を踏まえて、アーバンスポーツができる施設を整備する場合の課題の解決策を具体化しました。特に、ストリートスポーツに対する心配や懸念、課題が多かったことから「ストリートスポーツができる施設を整備する場合」に重点を置いた検討を行いました。

1. 施設外部で起こるかもしれない課題については「騒音問題(公道・公園での滑走、施設利用時間外の音(話し声)など)」と「マナー問題(ゴミのポイ捨て、路上駐車など)」に分類し、具体的な対応策や解決策について検討しました。
最も多かった具体的な対応策や解決策は、【施設の運営や管理】と【より良い施設にするための工夫】による対応や解決でした。
2. 施設内部で起こるかもしれない課題については「ルール違反問題(ゴミの置き去り、ルールを守らない人への対応など)」と「事故やけがの防止」に分類し、具体的な対応策や解決策について検討しました。
最も多かった具体的な対応策や解決策は、施設内の【ルール作り】による対応や解決でした。また、ルールの維持は、【施設の運営や管理】で補完しながら対応し解決することが有効だという意見が多く出ました。
3. その他に考えなければならない課題に対する対応策や解決策については【近隣住民が感じていること】への配慮と、【施設の運営や管理】による対応や解決でした。
4. ストリートスポーツ以外のアーバンスポーツへの懸念や課題についても検討しました。ストリートスポーツ以外のアーバンスポーツについては、ストリートスポーツと比較すると、課題等に関しての意見は多く出ませんでした。事故やけがの問題と具体的な対策については、種目ごとに特徴が異なるため、種目ごとの【ルール作り】が必要であり、【より良い施設にするための工夫】も必要という意見が出ました。

第2回の意見交換会では、第1回で意見の多かったストリートスポーツに対する心配や懸念等について意見交換した結果、施設内部よりも、施設外部で起こる可能性のある問題について、参加者の問題意識が高いことが判明しました。

施設整備に対する不安や懸念、施設を整備する上での課題については、他自治体と比較しても大きく異なりませんが、他自治体においては、地域住民等との調整が十分でなく、施設の開設ができなかった事例や、施設開設後に利用者マナー等の問題から施設が閉鎖(一時的なものを含む)になる事例もありますので、不安や懸念の解消、課題の解決に向けては、施設整備を希望する方、整備に不安のある方が引き続き一緒になって考えていく必要があります。一方、課題への対応策に関する意見については、国内のアーバンスポーツパークの運営と比較して厳しいルールも提案されています。厳しすぎるルールの下で運営される施設では、利用者が集まりにくく、施設整備に伴う良い影響(地域の活性化、子どもたちの居場所の充実等)が限定的になってしまう懸念があることにも留意が必要です。

最終的なアーバンスポーツができる施設の整備の有無については、いただいた意見を参考に、課題を解決できる対応策と一定の利用者数を見込める施設として整備できるかどうかのバランスを考慮して、区が判断していくことが重要であると考えます。

7. 施設整備に向けた合意形成(意見交換会) 第3回

第3回意見交換会:(1)個人ワークシートの内容・傾向

第3回の意見交換会では、これまでに議論できていなかった、アーバンスポーツができる施設を整備する場合の施設コンセプトや、どのような施設が求められているのかについて意見交換しました。

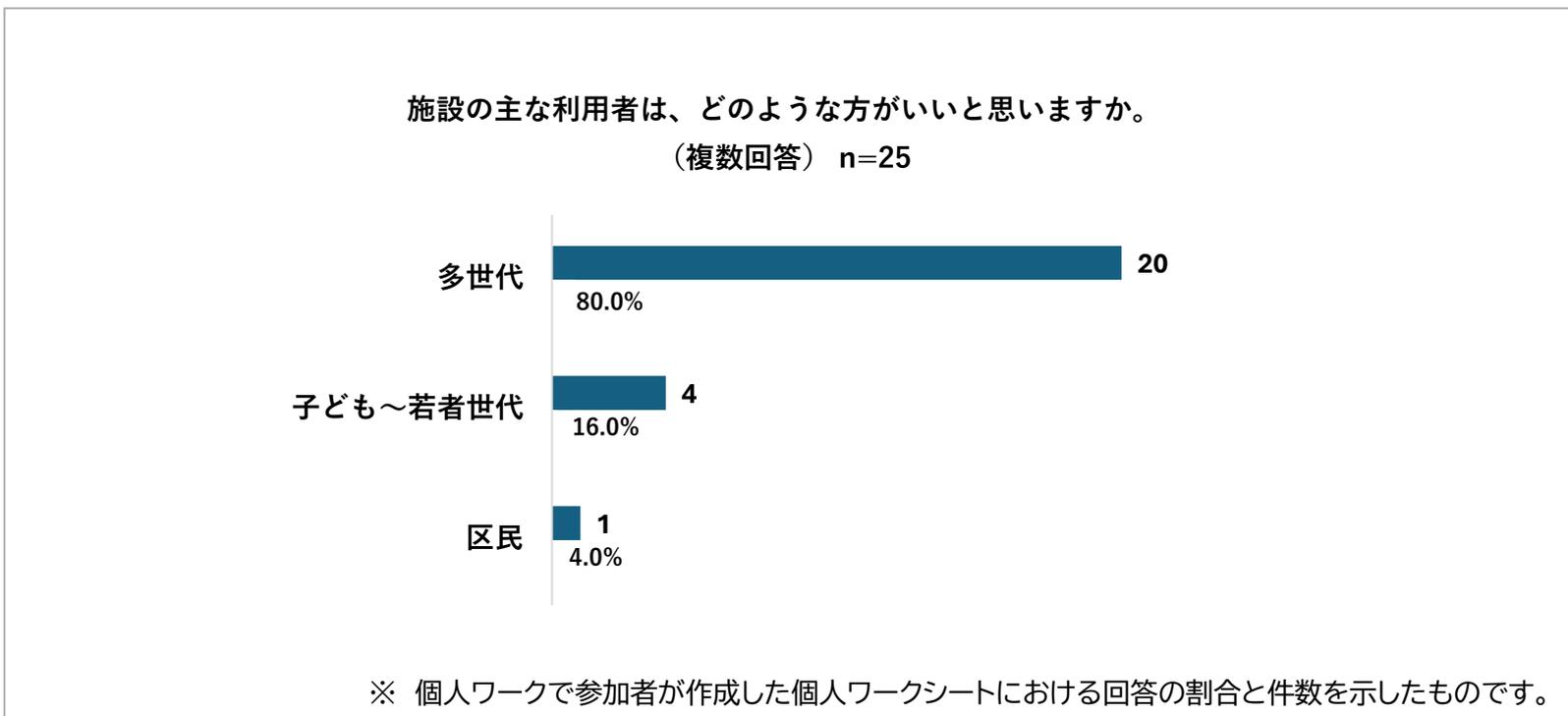
- 前半は下欄のワークシートに沿って、施設の主な利用者・取り扱うアーバンスポーツの種目・施設のコンセプト等の活用案を考える個人ワークを行いました。
- 個人ワークの後に、グループ内で各参加者が作成したのシートの内容を発表しました。

旧杉並中継所の跡地活用に関する意見交換会(第3回)	個人ワークシート	氏名
<p>1. 旧杉並中継所をアーバンスポーツができる施設として整備する場合、どのような施設にするのが良いと思いますか？</p> <p>(1) 施設の主な利用者はどのような方が良いと思いますか。 <i>(例：子どもを中心に、多世代が平等に利用、区民のみに限定する等)</i></p> <hr/> <p>(2) 取り扱うアーバンスポーツの種目は何が良いと思いますか。 <i>(例：スケートボード、BMX、インラインスケート、ボルダリング、パルクール、バスケットボール(3on3)等)</i></p> <hr/> <p>(3) アーバンスポーツ以外にはどのようなスペースがあると良いと思いますか。 <i>(例：待合スペース、ラウンジ、カフェ、読書スペース、集会室、ストレッチができるエリア、ダンスや音楽のスタジオ等)</i></p> <hr/> <p>(4) より良い施設とするためにどのような工夫が必要だと思いますか。 <i>(例：利用料金の低廉化、施設の開設時間を夜遅くまで開かないようにする、初心者講習等を充実させる、利用者協議会を設置して地域と連携する等)</i></p> <hr/> <p>(5) 上記を踏まえ、あなたが大切にしたい施設のコンセプトは何ですか。 <i>(例：あらゆる世代の方が気軽に体を動かして区民が楽しく健康になる施設。小中学生が放課後や休日に集まり新たな仲間に出会える施設。利用者と地域住民が連携して育むことで地域に愛されるシンボルのような施設。アーバンスポーツを通じて平常時から地域のつながりを強める区の防災拠点。等)</i></p>	<p>2. そのように考える理由は何ですか。</p> <p>(1) の理由</p> <hr/> <p>(2) の理由</p> <hr/> <p>(3) でそのスペースを選んだ理由</p> <hr/> <p>(4) の理由</p> <hr/>	

第3回意見交換会(1)個人ワークシートの内容・傾向

1. 旧杉並中継所をアーバンスポーツができる施設として整備する場合、どのような施設にするのが良いと思いますか？

(1) 施設の主な利用者はどのような方が良いと思いますか。



(1)の理由: 主な意見

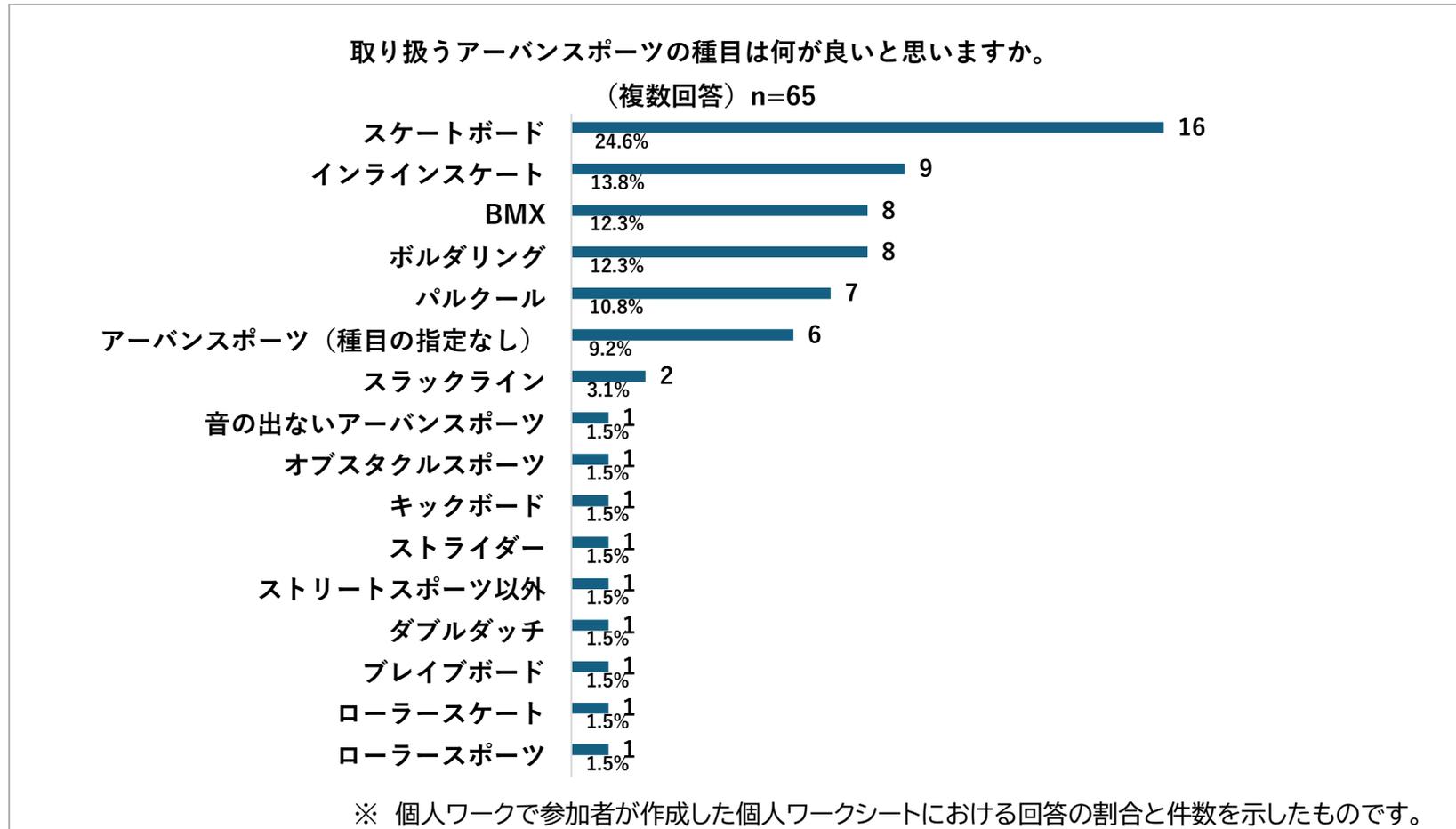
- 子どもと大人の交流はあるべき。大人の姿やプロの姿を見ることは重要だと思う。
- 子ども達が中心となって利用したいが、多世代にすることでルールやマナーを多世代間で共有できる。
- 学校の新たな拠点にしてあげたい。

7. 施設整備に向けた合意形成(意見交換会) 第3回

第3回意見交換会(1)個人ワークシートの内容・傾向

1. 旧杉並中継所をアーバンスポーツができる施設として整備する場合、どのような施設にするのが良いと思いますか？

(2) 取り扱うアーバンスポーツの種目は何が良いと思いますか。



(2)の理由: 主な意見

- ・ 触れることのできるスポーツは多い方が良いと思います。エリア重ね使いできるものがあるとなお良し。
- ・ 区内にも、都内にも、アーバンスポーツパークという施設が無い為、様々なスポーツにチャレンジする機会が得られた方が良い。特にスケートボードは、人気なのに施設がない。

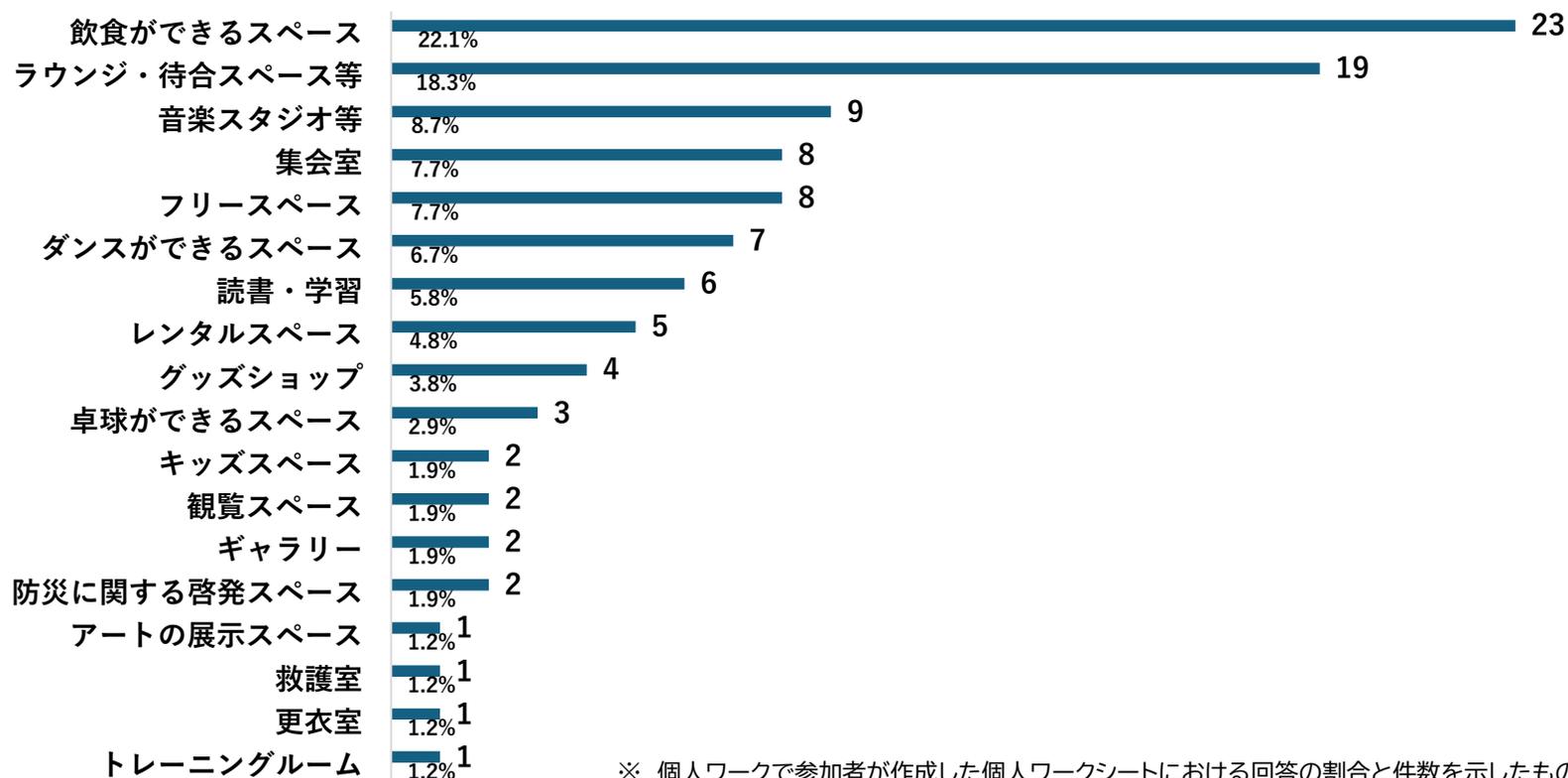
7. 施設整備に向けた合意形成(意見交換会) 第3回

第3回意見交換会(1)個人ワークシートの内容・傾向

1. 旧杉並中継所をアーバンスポーツができる施設として整備する場合、どのような施設にするのが良いと思いますか？

(3) アーバンスポーツ以外にはどのようなスペースがあると良いと思いますか。

アーバンスポーツ以外には、どのようなスペースがあると良いと思いますか。(複数回答) n=104



※ 個人ワークで参加者が作成した個人ワークシートにおける回答の割合と件数を示したものです。

(3)の理由: 主な意見

- 多世代が利用できるように。
- 保護者(両親や祖父母)が待機できるスペースが必要。
- 利用者協議会・地域住民との交流会が開催できる集会室が必要だと考えます。

7. 施設整備に向けた合意形成(意見交換会) 第3回

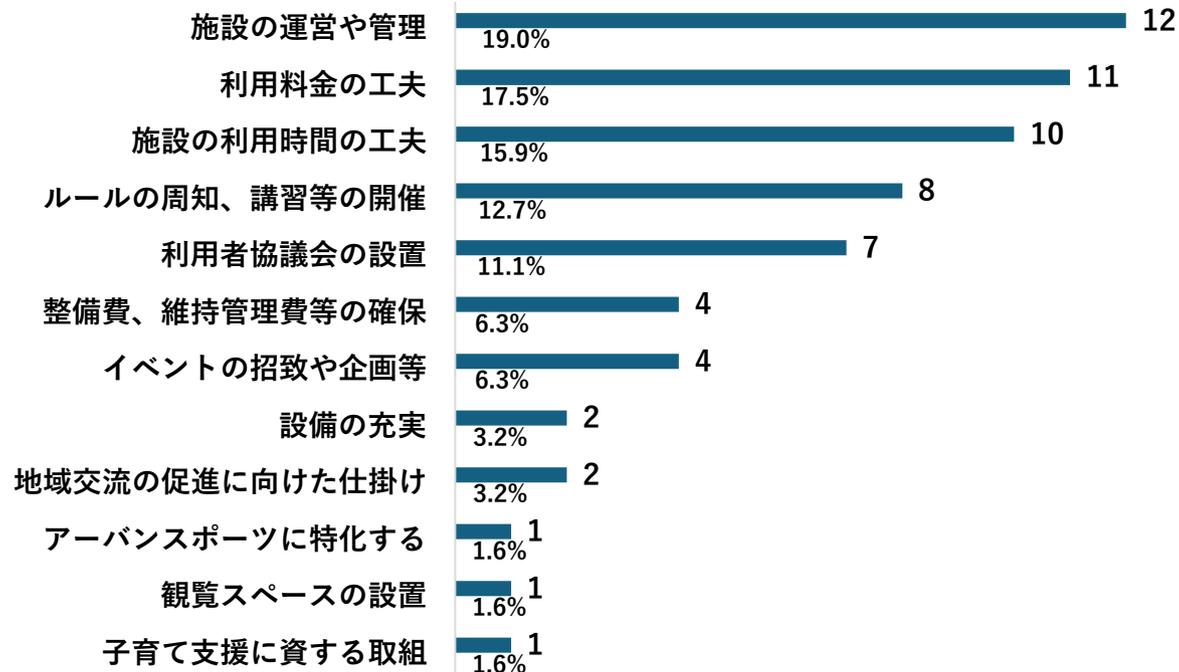
第3回意見交換会：(1)個人ワークシートの内容・傾向

1. 旧杉並中継所をアーバンスポーツができる施設として整備する場合、どのような施設にするのが良いと思いますか？

(4)より良い施設とするためにどのような工夫が必要だと思いますか。

より良い施設とするために、どのような工夫が必要だと思いますか。

(複数回答) n=63



※ 個人ワークで参加者が作成した個人ワークシートにおける回答の割合と件数を示したものです。

(4)の理由:主な意見

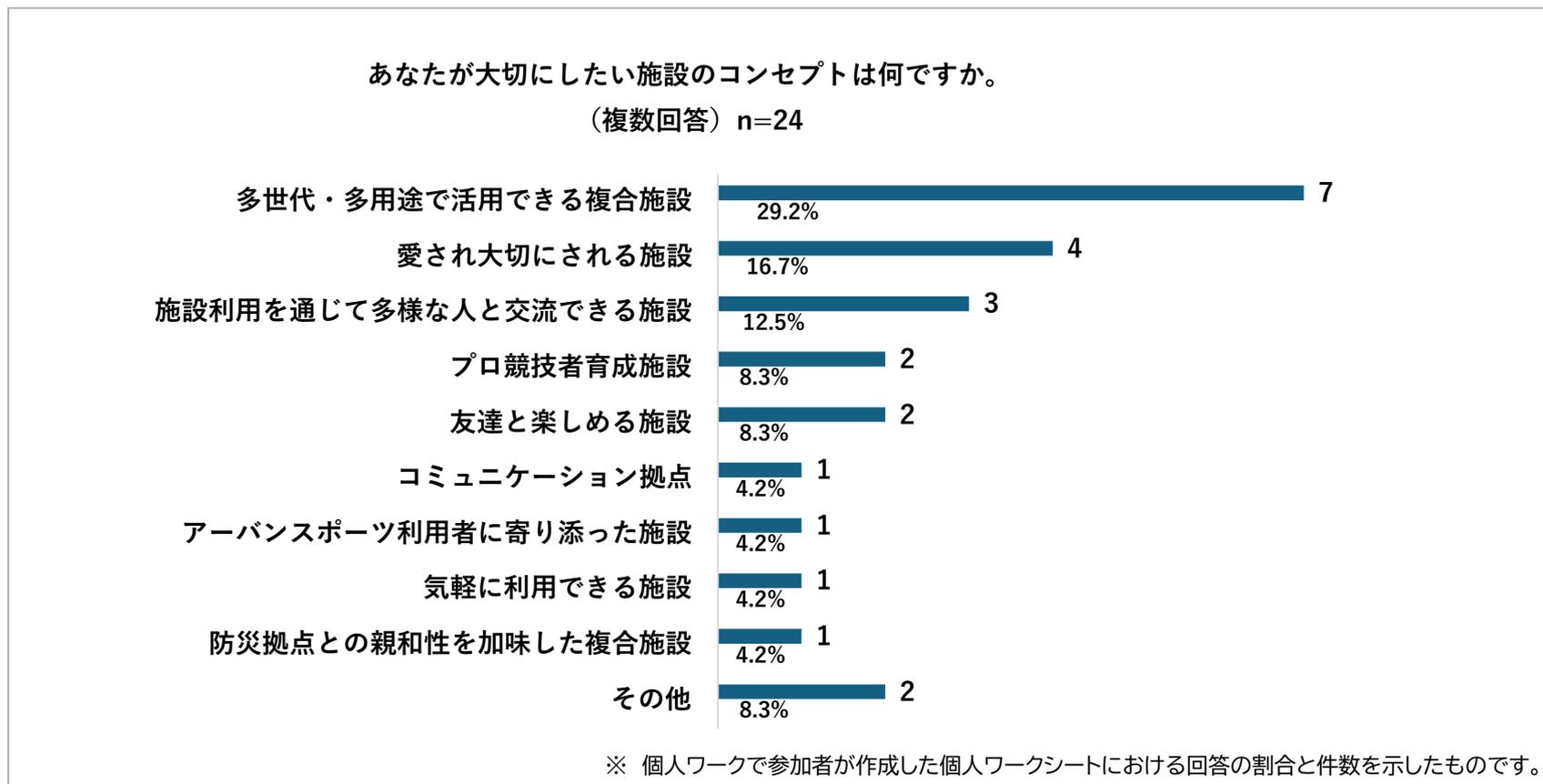
- 利用料金が低い/高い/無料等。
- 迅速に対応できるクレーム要望等を伝える窓口の設置。
- 利用時間をスペースごとに分けるなど柔軟に設定。

7. 施設整備に向けた合意形成(意見交換会) 第3回

第3回意見交換会：(1)個人ワークシートの内容・傾向

1. 旧杉並中継所をアーバンスポーツができる施設として整備する場合、どのような施設にするのが良いと思いますか？

(5)あなたが大切にしたい施設のコンセプトは何ですか。



(5)の理由:抜粋

- あらゆる世代の方が、気軽に体を動かして、楽しく過ごせる施設。
- 多世代が、各々のニーズに応じて、利用し、交流できる施設。
- 利用者と地域住民で作る、地域と子どもたちを育むシンボルのような施設。

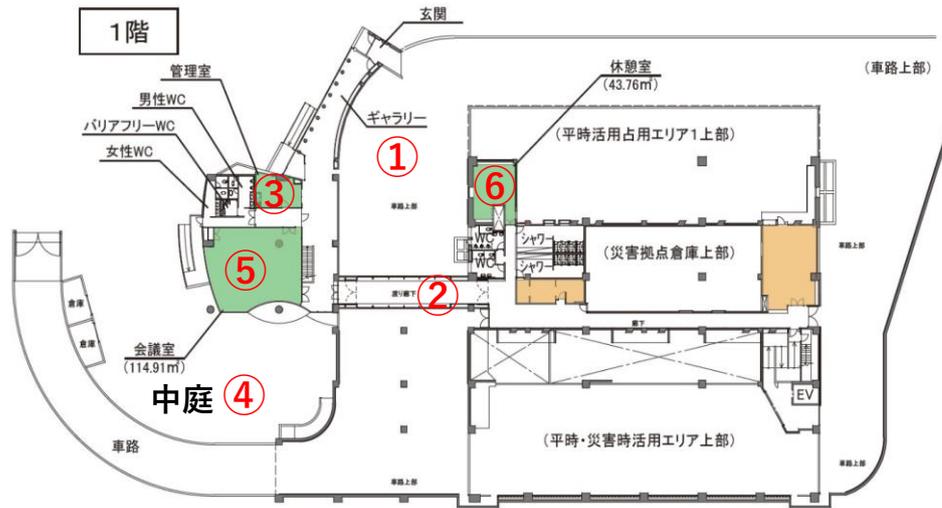
7. 施設整備に向けた合意形成(意見交換会) 第3回

第3回意見交換会:(2)グループワーク

グループワークでは下記の模造紙を使用して、施設内の各エリアの具体的な活用案を出し合いながらゾーニング案等の検討を行いました。結果は次ページ以降に記載します。

旧杉並中継所の跡地活用に関する意見交換会(第3回) 模造紙

3. 必要と考えたスペースのゾーニングを考えて付せて貼りましょう。



テーブル NO.

4. 実際に施設を運営する場合、必要だと思う対策は何ですか
(実現可能性も踏まえて考えましょう)。

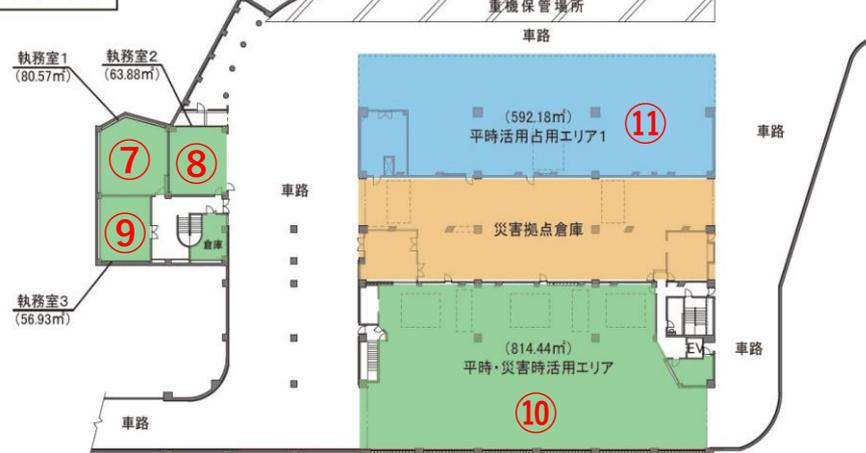
施設の外部におけるマナー違反や騒音への対策

施設の内部におけるマナー違反への対策

ケガや事故への対策

その他の対策

地下1階



地下2階



※【参考】小中学校の普通教室の面積：約 64 m²

※平時・災害時活用エリア(緑部分)については、災害時に支障となる設備(人力ですぐに動かせないもの)等の設置はできません

7. 施設整備に向けた合意形成(意見交換会) 第3回

第3回意見交換会:(2)グループワーク

施設内の各エリアの具体的な活用案を出し合いながらゾーニング案について

施設内の各エリアの具体的な活用案を出し合いながらグループワークで検討したゾーニング案について

エリア名称	ゾーニング案	提案件数
① 1F ギャラリー	飲食ゾーン	n=2
② 1F 廊下	観覧ゾーン	n=1
③ 1F 管理室	販売ゾーン	n=1
④ 1F 中庭	飲食ができるスペース	33.3%
	集会室	33.3%
	キッズスペース	33.3%
⑤ 1F 会議室	飲食ができるスペース	27.8%
	集会室	22.2%
	ラウンジ・待合スペース等	11.1%
	フリースペース	11.1%
	ギャラリー	5.6%
	アートの展示スペース	5.6%
	観覧スペース	5.6%
	防災に関する啓発スペース	5.6%
	キッズスペース	5.6%
⑥ 1F 休憩室	事務室	50.0%
	更衣室	50.0%

7. 施設整備に向けた合意形成(意見交換会) 第3回

第3回意見交換会:(2)グループワーク

施設内の各エリアの具体的な活用案を出し合いながらゾーニング案について

施設内の各エリアの具体的な活用案を出し合いながらグループワークで検討したゾーニング案について

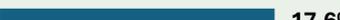
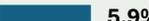
エリア名称	ゾーニング案	提案件数
⑦ B1F 執務室1	ストレッチができるスペース	21.4%
	ダンスができるスペース	21.4%
	キッズスペース	14.3%
	集会室	7.1%
	読書・学習	7.1%
	レンタルスペース	7.1%
	グッズショップ	7.1%
	音楽スタジオ等	7.1%
	ダブルダッチができるスペース	7.1%
n=14		
⑧ B1F 執務室2	読書・学習	14.3%
	レンタルスペース	14.3%
	防災に関する啓発スペース	14.3%
	飲食ができるスペース	14.3%
	ストレッチができるスペース	14.3%
	ダンスができるスペース	14.3%
	フリースペース	14.3%
n=7		
⑨ B1F 執務室3	ラウンジ・待合スペース等	20.0%
	ダンスができるスペース	20.0%
	音楽スタジオ等	20.0%
	空手道場	20.0%
	卓球ができるスペース	20.0%
n=5		

7. 施設整備に向けた合意形成(意見交換会) 第3回

第3回意見交換会:(2)グループワーク

施設内の各エリアの具体的な活用案を出し合いながらゾーニング案について

施設内の各エリアの具体的な活用案を出し合いながらグループワークで検討したゾーニング案について

エリア名称	ゾーニング案	提案件数
⑩ B1F 平時・災害時活用 エリア(ホッパーステージ)	アーバンスポーツ(種目の指定なし)ができるスペース  27.3%	n=11
	バスケットボールができるスペース  27.3%	
	アーバンスポーツ(ストリートスポーツ)ができるスペース  9.1%	
	トレーニングができるスペース  9.1%	
	ダンスができるスペース  9.1%	
	ラウンジ・待合スペース等  9.1%	
	飲食ができるスペース  9.1%	
⑪ B1F 平時活用占用 エリア1(昇降設備室)	アーバンスポーツ(ストリートスポーツ)ができるスペース  23.5%	n=17
	アーバンスポーツ(ストリートスポーツ以外)ができるスペース  17.6%	
	飲食ができるスペース  11.8%	
	フリースペース  11.8%	
	ストレッチができるスペース  5.9%	
	ダンスができるスペース  5.9%	
	バスケットボールができるスペース  5.9%	
	ラウンジ・待合スペース等  5.9%	
	駐車場・駐輪場  5.9%	
	防災に関する啓発スペース  5.9%	

7. 施設整備に向けた合意形成(意見交換会) 第3回

第3回意見交換会:(2)グループワーク

施設内の各エリアの具体的な活用案を出し合いながらゾーニング案について

施設内の各エリアの具体的な活用案を出し合いながらグループワークで検討したゾーニング案について

エリア名称	ゾーニング案	提案件数
⑫ B2F 平時活用占有 エリア2(機械室)	アーバンスポーツ(ストリートスポーツ)ができるスペース	31.6%
	アーバンスポーツ(ストリートスポーツ以外)ができるスペース	21.1%
	観覧スペース	15.8%
	アーバンスポーツ(種目の指定なし)ができるスペース	10.5%
	ラウンジ・待合スペース等	10.5%
	飲食ができるスペース	5.3%
	グッズショップ	5.3%
		n=19

7. 施設整備に向けた合意形成(意見交換会) 第3回

第3回意見交換会のまとめ

第3回意見交換会では、これまでの意見交換会の内容を踏まえ、具体的な施設の活用案を検討しました。まずは、個人ワークを通して活用案を検討し、その後のグループワークでは他の人と意見交換しながらゾーニング案の検討を行い、活用案をブラッシュアップしました。

(1) 個人ワークの内容(施設の活用案の検討)

1. 「施設の主な利用者」に関する意識調査の中で最も多かった回答:【多世代】
2. 「取り扱うアーバンスポーツの種目」に関する意識調査の中で最も多かった回答:【スケートボード】
3. 「アーバンスポーツ以外にあると良いスペース」に関する意識調査の中で最も多かった回答:【飲食ができるスペース】
4. 「より良い施設にするための工夫」に関する意識調査の中で最も多かった回答:【施設の運営や管理】
5. 「大切にしたい施設のコンセプト」に関する意識調査の中で最も多かった回答:【多世代・多用途で活用できる複合施設】

(2) グループワークの内容(活用案に関する意見交換、ゾーニング案等の検討)

1. 「1F会議室」のゾーニング案で多かった提案は【飲食ができるスペース】【集会室】
2. 「B1F執務室1, 2, 3」のゾーニング案で多かった提案は【ダンスができるスペース】【ストレッチができるスペース】など
3. 「B1F 平時・災害時活用エリア(ホッパーステージ)」のゾーニング案で多かった提案は【アーバンスポーツ(種目の指定なし)ができるスペース】【バスケットボールができるスペース】
4. 「B1F 平時活用占用エリア1(昇降設備室)」のゾーニング案で多かった提案は【アーバンスポーツ(ストリートスポーツ)ができるスペース】【アーバンスポーツ(ストリートスポーツ以外)ができるスペース】
5. 「B2F 平時活用占用エリア2(機械室)」のゾーニング案で多かった提案は【アーバンスポーツ(ストリートスポーツ)ができるスペース】【アーバンスポーツ(ストリートスポーツ以外)ができるスペース】

第3回意見交換会では、具体的な活用案を検討する中で、施設内のエリアの特徴を活かしたゾーニング案が提案されました。個人ワークで多世代が利用できる施設を希望する回答が多かったことがゾーニング案にも反映されており、様々な用途で使用できるスペース(飲食ができるスペース、ラウンジ・待合スペース、キッズスペース等)をゾーニングする案が多く見られました。

「B2F 平時活用占用エリア2(機械室)」については63.2%の方が、何らかのアーバンスポーツができるスペースをゾーニング提案しました。